

平成24年度
神奈川県立体育センター研究報告書

神奈川県総合型地域スポーツクラブが
もたらす効果について

— 会員の意識調査より —

神奈川県立体育センター
生涯スポーツ課スポーツ推進班

目 次

【テーマ設定の理由】	1
【目的】	1
【研究内容及び方法】	2
1 研究内容	2
2 研究方法	2
(1) 研究内容	
(2) 会員の意識調査の概要	
(3) 「総合型地域スポーツクラブの設立効果に関する調査研究」報告書について	
【会員の意識調査結果および分析・考察】	4
1 神奈川県内総合型地域スポーツクラブ会員の意識調査結果報告	
(1) 回答者について	
(2) スポーツの実施状況について	
(3) 住んでいる地域について	
(4) 現在の生活について	
(5) 総合型クラブでの活動状況および総合型クラブ加入前の活動について	
(6) 総合型クラブへの加入と生活について	
2 分析および考察	26
(1) 「総合型地域スポーツクラブの設立効果に関する調査研究」報告書における（文部科学省、平成22年3月）周辺住民、未設置自治体住民への調査結果との比較・分析	
(2) 総合型クラブのもたらす効果について分析および考察	
【まとめ】	33
【今後に向けて】	33
【引用文献】	33
【参考資料】	35

「神奈川県総合型地域スポーツクラブがもたらす効果について」 ～会員の意識調査より～

スポーツ推進班 大西理也 逸見育磨 池田 剛 千葉正範

【テーマ設定の理由】

我が国における地域スポーツは、行政サービスとして地域住民に提供されるか、または、地域住民が同好の人たちと一緒に特定のスポーツを仲間内で楽しむという形が一般的であった。しかし、少子・高齢社会の進展、地域社会の機能低下などが指摘される中、地域スポーツをめぐる状況は大きく変化しており、新しい形態でのスポーツ環境の整備が求められている。

このことを受け、平成12年に告示された「スポーツ振興基本計画」（平成18年改訂）では、生涯スポーツ社会の実現のための重点施策として、全国の各市区町村において少なくとも一つは総合型地域スポーツクラブ（以下「総合型クラブ」という）を育成することを到達目標とした。¹⁾ その結果、平成24年7月1日現在、全国では1,742市区町村のうち78%にあたる1,362市区町村が育成済みとなり、クラブの数は、創設済み3,048クラブ、創設準備中348クラブで、合計3,396クラブが活動するに至った。²⁾

神奈川県においても、平成25年2月1日現在、県内33市町村のうち、育成済み市町村は22市町村となり、活動クラブ数は創設済み70クラブ、創設準備中12クラブ、合計82クラブとなっている。

平成23年8月に施行された「スポーツ基本法」では、『スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは全ての人々の権利であるとともに、スポーツが、青少年の健全育成や、地域社会の再生、心身の健康の保持増進、社会・経済の活力の創造、我が国の国際的地位の向上等国民生活において多面にわたる役割を担うこと』を明記している。³⁾

また、平成24年7月の「健康日本21（第2次）」では、「健康を支え、守るための社会環境の整備」中で『個人の健康は、家庭、学校、地域、職場等の社会環境の影響を受けることから、社会全体として、個人の健康を支え、守る環境づくりに努めていくことが重要であり、(中略)また、地域や世代間の相互扶助など、地域や社会の絆、職場の支援等が機能することにより、時間的又は精神的にゆとりのある生活の確保が困難な者や、健康づくりに関心のない者等も含めて、社会全体が相互に支え合いながら、国民の健康を守る環境を整備する。』と明示された。⁴⁾

これらのことを踏まえた時、総合型クラブは、今後、様々なスポーツ活動を行う場を創出することはもとより、地域スポーツ活動を通して、地域の絆や結びつきを再発見するなど、共助の精神で活動する「新しい公共」を担うコミュニティの核としての期待がますます大きくなると考えられる。そこで、県内総合型クラブのより一層の普及・定着を図るには、総合型クラブを創設したことによる会員への効果をより明確にしていくことが重要であると考え、本テーマを設定した。

【目的】

総合型クラブの会員・参加者への意識調査を実施し、実態を把握することにより、総合型クラブのもたらす効果を明らかにする。

【研究内容及び方法】

1 研究内容

県内総合型クラブの会員・参加者を対象に意識調査を行い、その結果を整理し、文部科学省で実施した「総合型地域スポーツクラブの設立効果に関する調査研究」報告書（平成 22 年 3 月）⁵⁾と比較できる項目について比較・分析を行う。さらに、「総合型クラブがもたらす効果」について分析・考察を行う。

2 研究方法

(1) 研究方法

- ・「神奈川県総合型地域スポーツクラブ会員の意識調査」調査実施
- ・集計・処理
- ・「総合型地域スポーツクラブの設立効果に関する調査研究」報告書と比較・分析・考察
- ・結果の分析・考察

(2) 会員の意識調査の概要

ア 調査対象クラブ

神奈川県内総合型クラブ 24 クラブ

イ 抽出方法

神奈川県内の育成済み市町村を 5 つのエリアに分割し、対象クラブを抽出（抽出クラブ数/創設済みクラブ数）

〔横浜地区〕

横浜市 5 / 23

〔川崎地区〕

川崎市 3 / 8

〔湘南・横須賀三浦地区〕

横須賀市、平塚市、鎌倉市、藤沢市、茅ヶ崎市、伊勢原市、逗子市、寒川町、大磯町 7 / 18

〔県央地区〕

相模原市、座間市、綾瀬市、愛川町、清川村 5 / 15

〔県西地区〕

小田原市、南足柄市、松田町、山北町、箱根町 4 / 6

ウ 調査対象会員

神奈川県内の総合型地域スポーツクラブの会員・参加者を対象（送迎のみの保護者は対象外）

エ 標本数

回収標本数 1,467 サンプル

エリア別回収標本数

横浜地区 315 川崎地区 109 湘南・横須賀三浦地区 470

県央地区 333 県西地区 240

オ 調査実施期間

平成 24 年 11 月 19 日（月）～平成 24 年 12 月 16 日（日）

カ 調査方法

総合型クラブごとに、次の調査方法を選択し、回答する。

(ア) 質問紙／マークシート

各総合型クラブに質問紙、マークシートを郵送し、巡回相談時に体育センター所員がマークシートを回収

(イ) フォームメール

総合型クラブの会員が体育センターホームページから調査項目に回答する。

(3) 「総合型地域スポーツクラブの設立効果に関する調査研究」報告書について

文部科学省の「総合型地域スポーツクラブの設立効果に関する調査研究」報告書（平成22年3月）における、総合型クラブの周辺住民（非会員）（以下、「周辺住民」という）と、未設置自治体の住民（以下、「未設置」という）に関する調査結果を比較対象とし、比較・分析を行う。

《参考》

総合型クラブの会員、周辺住民（非会員）及び未設置自治体の住民に関する調査の方法と対象

・総合型クラブの会員に関する調査

訪問調査の対象となったクラブの会員を対象とし、アンケート調査を行った。調査票の配布は、クラブ会員数の30%を目安とし、上限100人、下限20人に設定した。その結果、対象は、4,394人であり、回収数は2,735人（回収率62.2%）であった。

・周辺住民(非会員)に関する調査

訪問調査の対象となったクラブが属する自治体(市区町村)の住民を対象とし、WEBアンケート会社のモニターを活用したWEBアンケート調査を実施した。

回収数は、1自治体あたり30票を目安とした。対象自治体のうち、人口規模が小さくモニター数が十分でないと思われる箇所については、クラブの活動拠点と地理的にできるだけ近い近隣自治体の住民の回答で補完した。モニター数が1,000以上の市区町村については、回答者の世代が偏らないよう配慮した。会員か非会員かについては、最初に設問を設けて判断した。回答数は1,646であった。

・未設置自治体の住民に関する調査

クラブが設置されていない自治体(市区町村)の住民を対象とし、WEBアンケート会社のモニターを活用したWEBアンケート調査を実施した。

自治体の抽出にあたっては、全国を、北海道、東北、関東、中部近畿、中国、四国、九州、沖縄のエリアに分け、沖縄からは任意に1自治体を抽出した。そのほかの8つのエリアでは、人口規模に配慮し、1万人未満、1～3万人未満、3万人以上の自治体が各エリアに必ず含まれるように抽出した。回収数は1自治体あたり30票を目安としたが、人口1万人未満の自治体については、同じエリアの複数の自治体で30票となるようにした。

また上記に加え、人口1,000人以下の未設置自治体全てを調査対象とした。回答数は921であった。

【会員の意識調査結果および分析・考察】

1 神奈川県内総合型地域スポーツクラブ会員の意識調査結果報告

(1) 回答者について

ア 性別

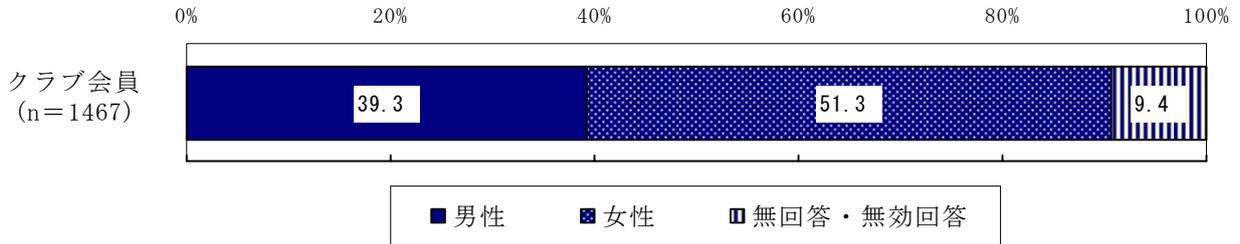


図 1-1 性別

イ 年代

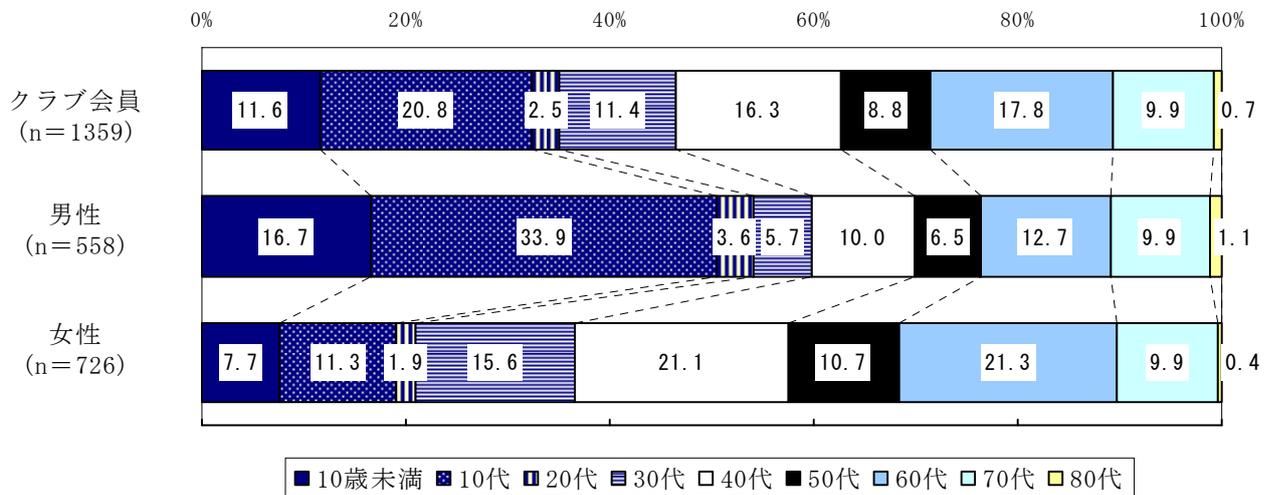


図 1-2 年代

ウ 職業

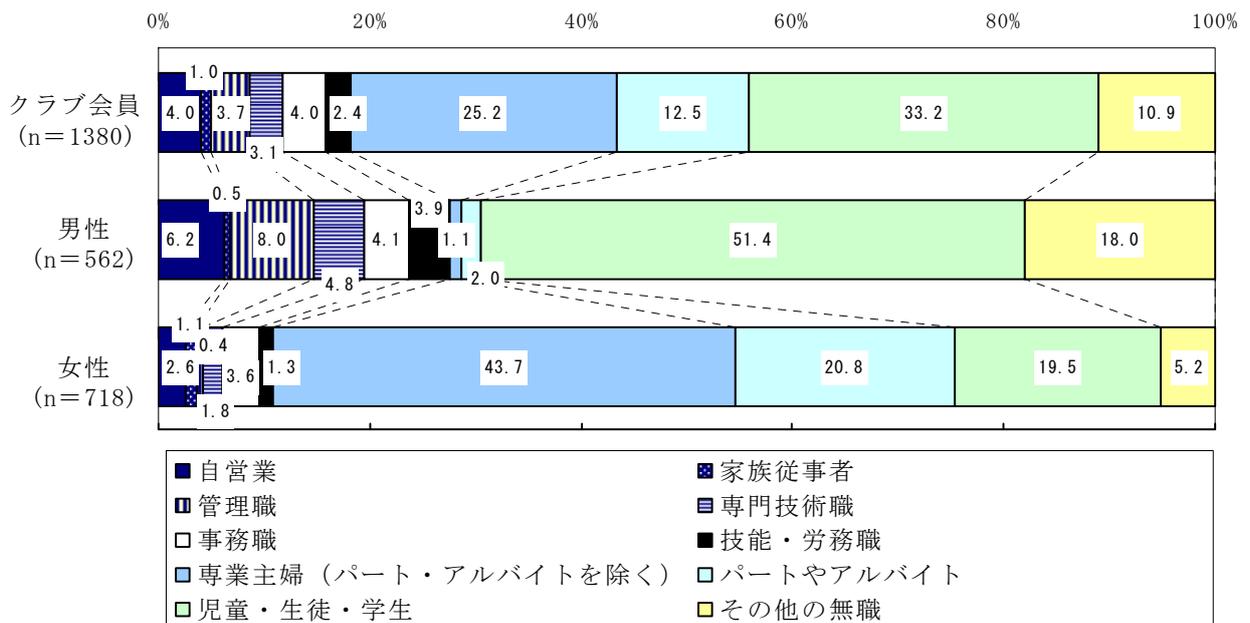


図 1-3 職業

(2) スポーツの実施状況について

ア 運動やスポーツを行った日数（最も近い日数）

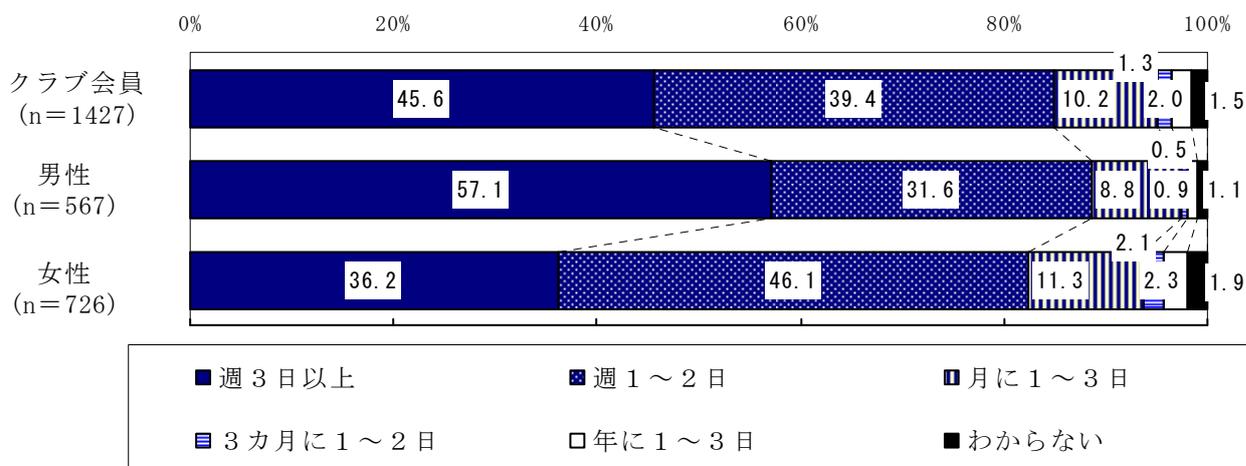
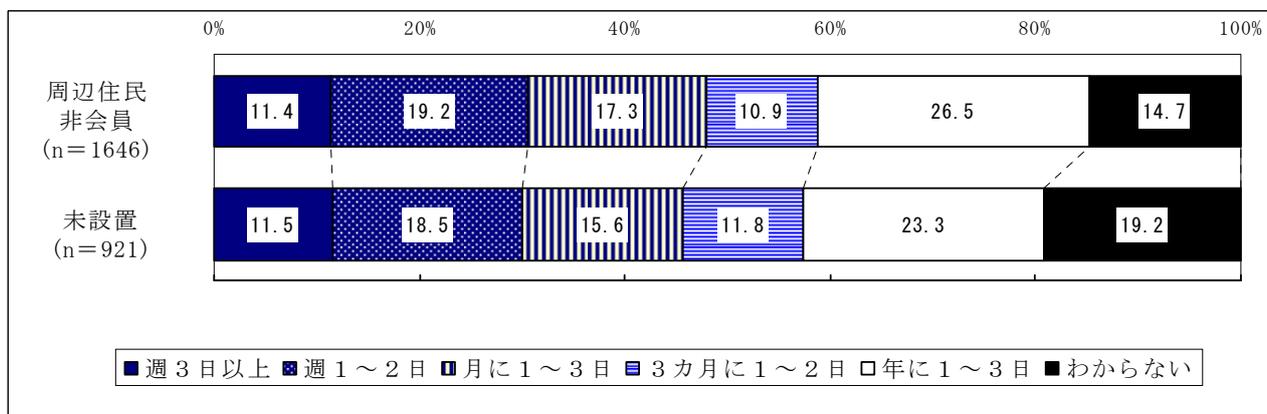


図2-1 運動やスポーツを行った日数

運動やスポーツを行った日数（図2-1）で、最も回答率が高いのは「週3日以上」45.6%であった。「週1日~2日」を合わせると85.0%に上る回答である。特に回答率が高いのは、男性が「週3日以上」の57.1%、女性が「週1~2日」の46.1%、男女により運動やスポーツを行う日数に差が出る結果となった。

(参考資料) 総合型地域スポーツクラブの設立効果に関する調査研究報告書より一部抜粋（文部科学省）



イ 運動やスポーツを行う理由（最も当てはまるもの）

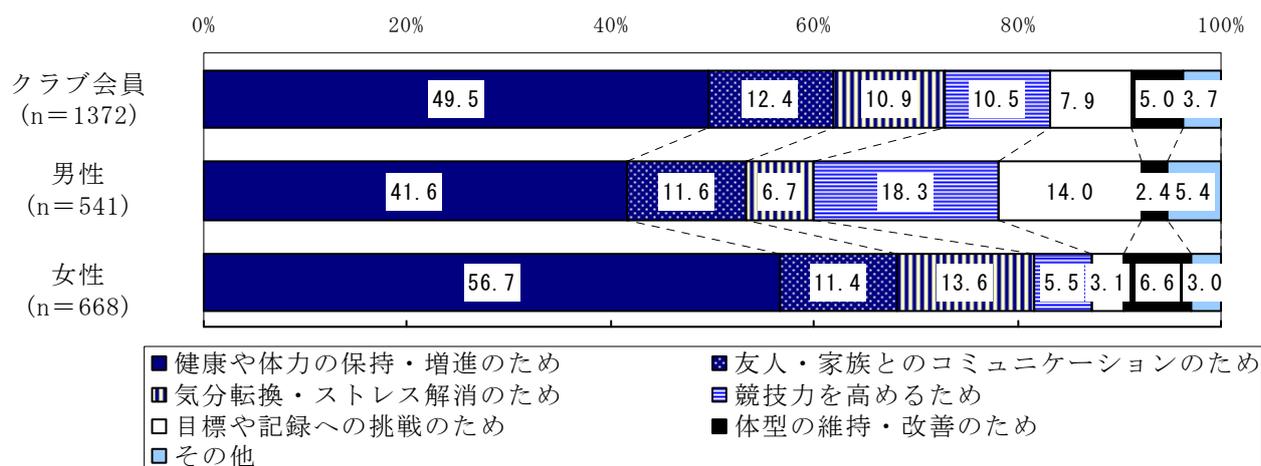


図 2-2 運動やスポーツを行う理由

運動やスポーツを行う理由（図 2-2）で、最も回答率が高いのは「健康や体力の保持・増進のため」の 49.5%であった。続いて、「友人・家族とのコミュニケーションのため」12.4%、「気分転換・ストレス解消のため」10.9%の順であった。男女共に「健康や体力の保持・増進のため」の回答が最も多く、男性は「競技力を高めるため」18.3%、「目標や記録への挑戦のため」14.0%、女性は、「気分転換・ストレス解消のため」13.6%、「友人・家族とのコミュニケーションのため」11.4%であった。男女により運動やスポーツを行う理由に違いが見られた。

(3) 住んでいる地域について
ア 住んでいる地域の住みやすさ

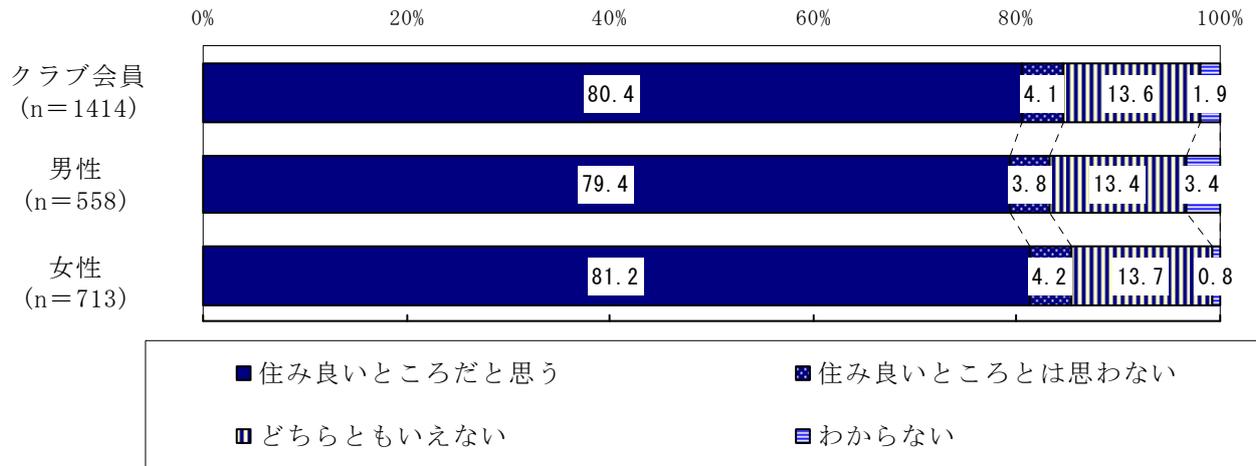
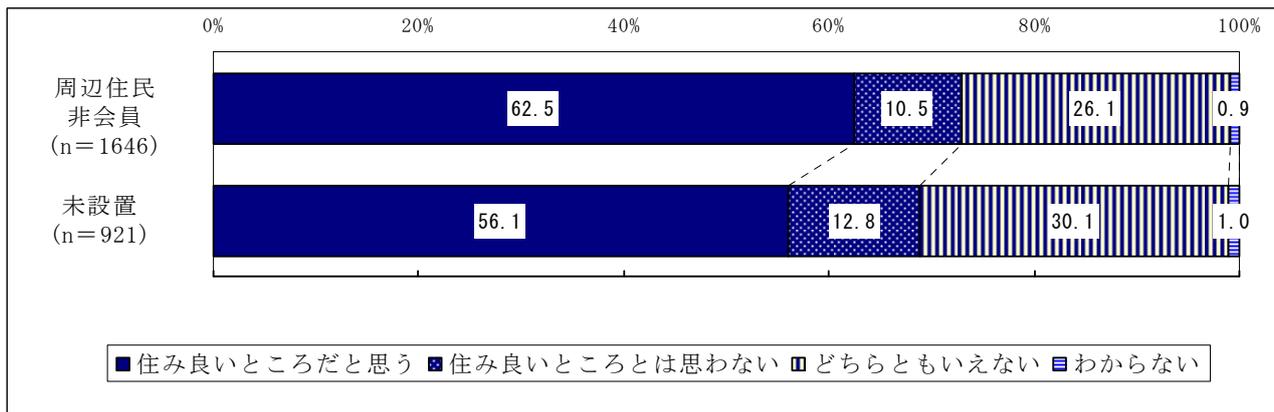


図 3-1 住んでいる地域の住みやすさ

住んでいる地域の住みやすさ（図 3-1）で、「住み良いところだと思う」の回答が 80.4%であった。

（参考資料）総合型地域スポーツクラブの設立効果に関する調査研究報告書より一部抜粋（文部科学省）



イ 地域への愛着や親しみ

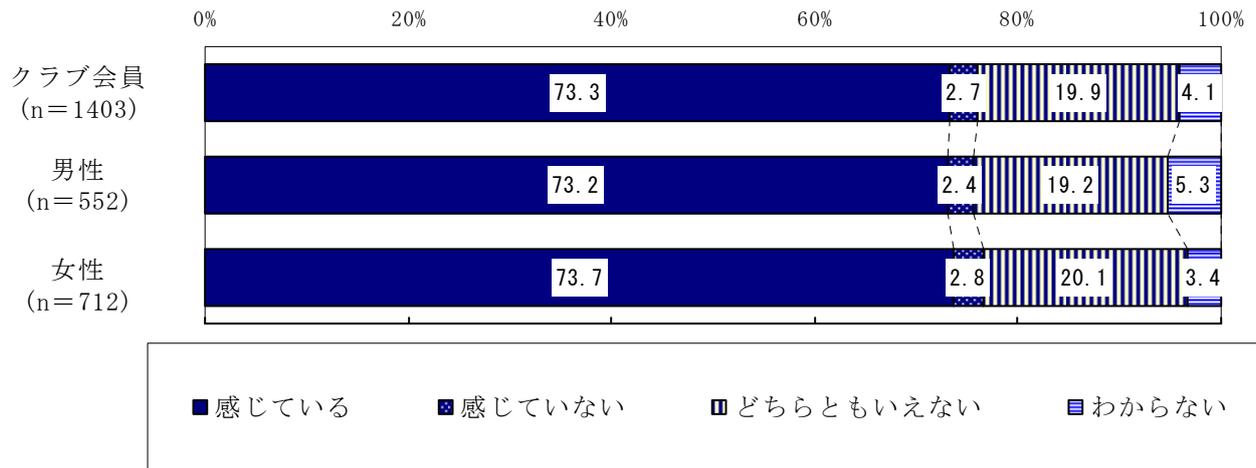
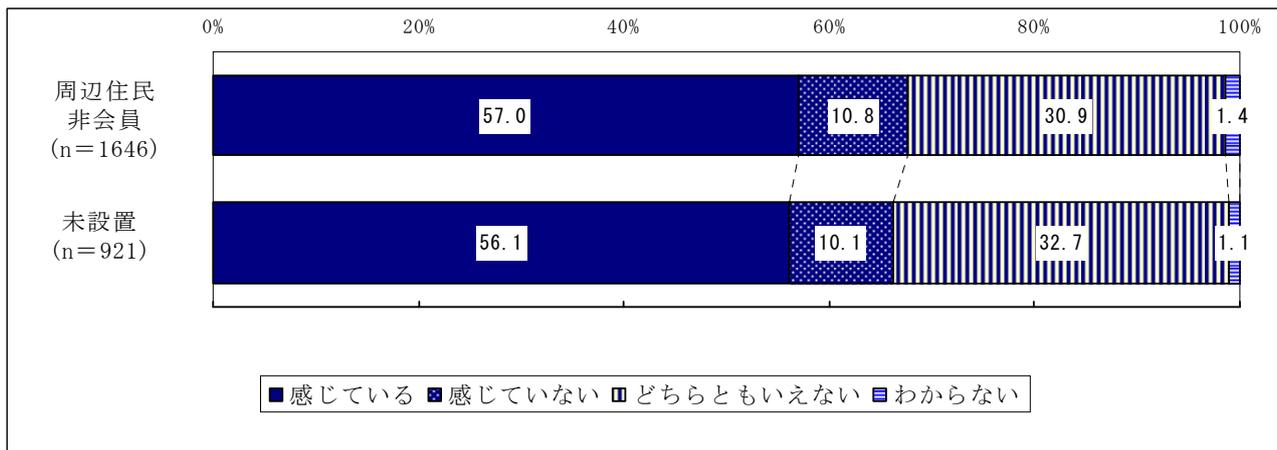


図 3-2 地域への愛着や親しみ

地域への愛着や親しみ（図 3-2）で、「感じている」の回答が 73.3%であった。「どちらともいえない」の回答が 19.9%であった。

（参考資料）総合型地域スポーツクラブの設立効果に関する調査研究報告書より一部抜粋（文部科学省）



ウ 地域のスポーツ環境の充実度＜1＞

○地域のスポーツ施設は充実していると思いますか

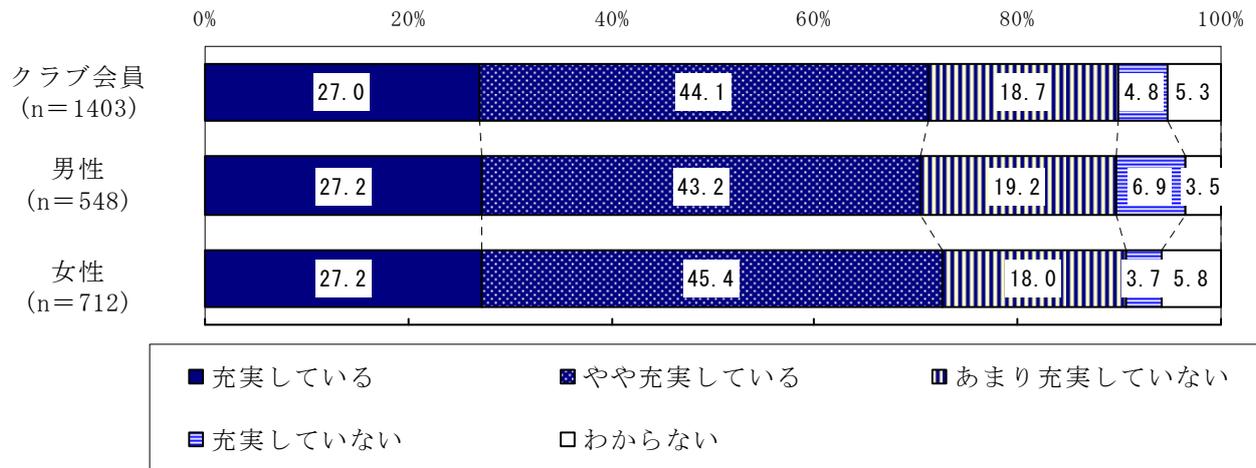
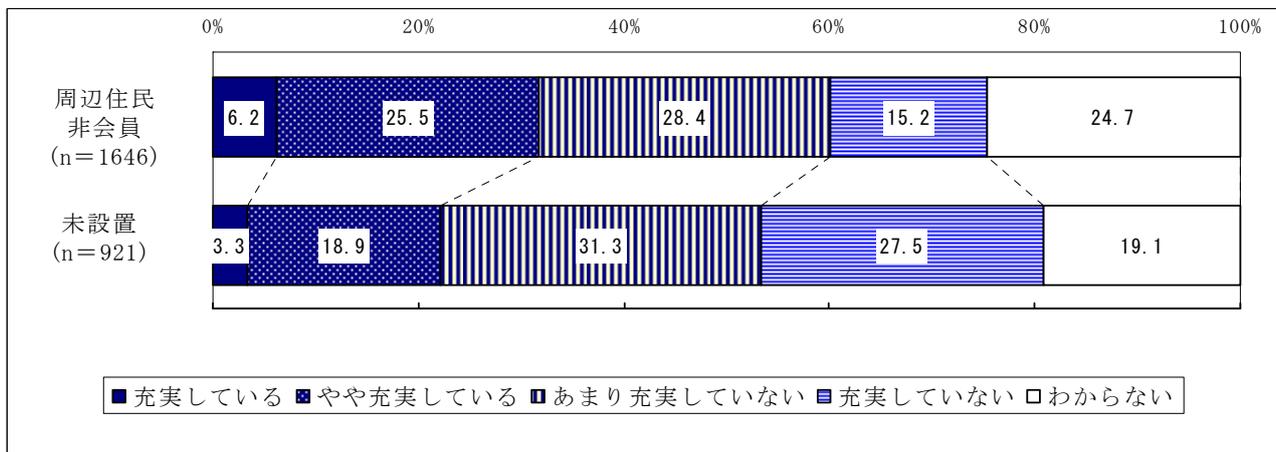


図3-3 スポーツ施設の充実度

スポーツ施設の充実度（図3-3）で、「充実している」の回答が27.0%、「やや充実している」の回答が44.1%であった。クラブ会員の71.1%が地域のスポーツ施設は概ね充実していると感じていることがわかった。

（参考資料）総合型地域スポーツクラブの設立効果に関する調査研究報告書より一部抜粋（文部科学省）



エ 地域のスポーツ環境の充実度＜２＞

○地域のスポーツ施設やスポーツクラブ等で提供されているプログラムは充実していると思いますか

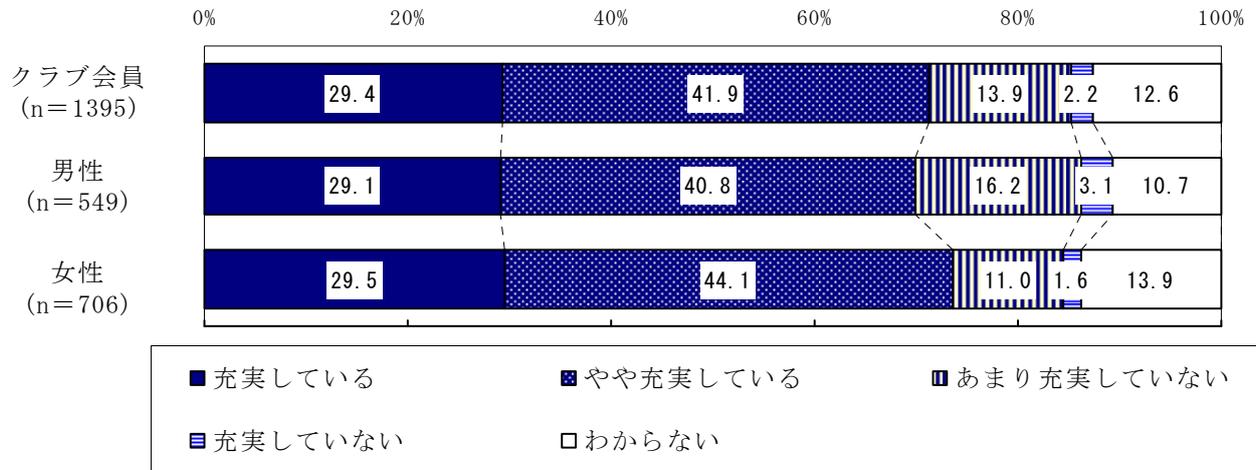
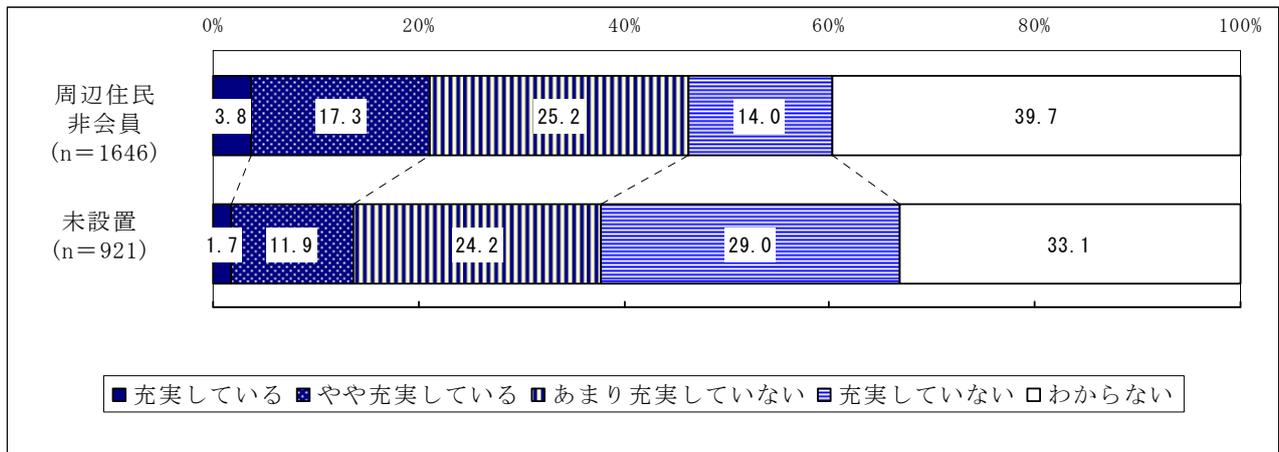


図 3-4 プログラムの充実度

プログラムの充実度（図 3-4）で、「充実している」の回答が 29.4%、「やや充実している」の回答が 41.9%であった。クラブ会員の 71.3%が、概ね充実していると感じていることがわかった。

（参考資料）総合型地域スポーツクラブの設立効果に関する調査研究報告書より一部抜粋（文部科学省）



オ 地域のスポーツ環境に対して重視する点

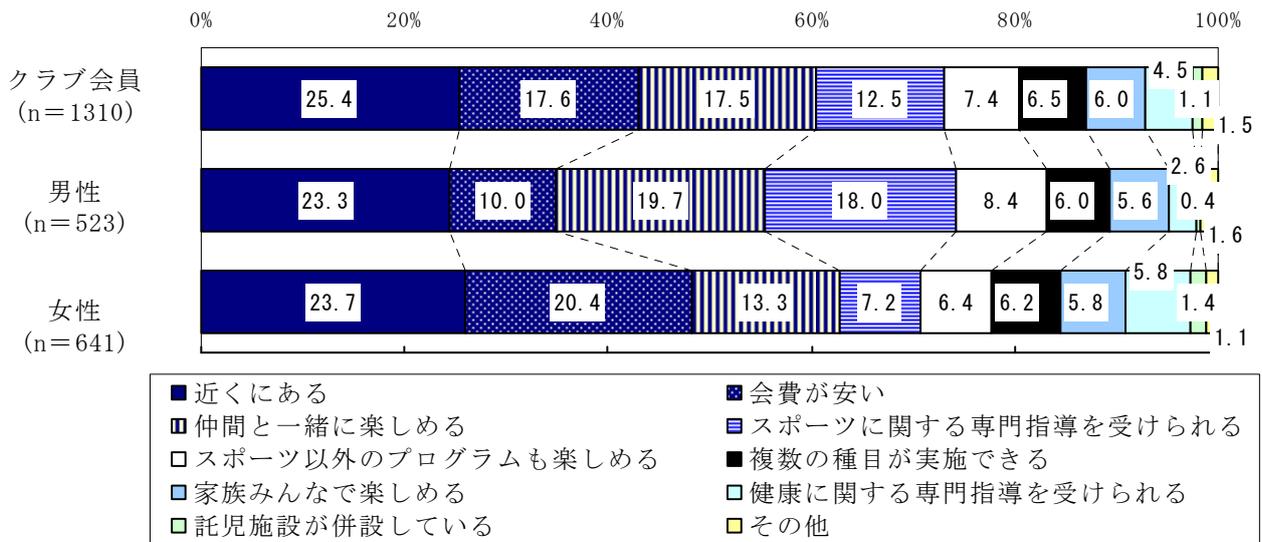


図3-5 地域のスポーツ環境に対して重視する点

地域のスポーツ環境に対して重視する点（図3-5）で、最も回答率が高いのは「近くにある」の25.4%であった。続いて、「会費が安い」17.6%、「仲間と一緒に楽しめる」17.5%の順であった。男女共に「近くにある」の回答が最も多く、男性は「仲間と一緒に楽しめる」19.7%、「スポーツに関する専門指導を受けられる」18.0%、女性は、「会費が安い」20.4%、「仲間と一緒に楽しめる」13.3%であった。男女によりスポーツ環境に対して重視する点で意識の違いが見られた。

カ 地域で経験したことがある役職（複数回答可）

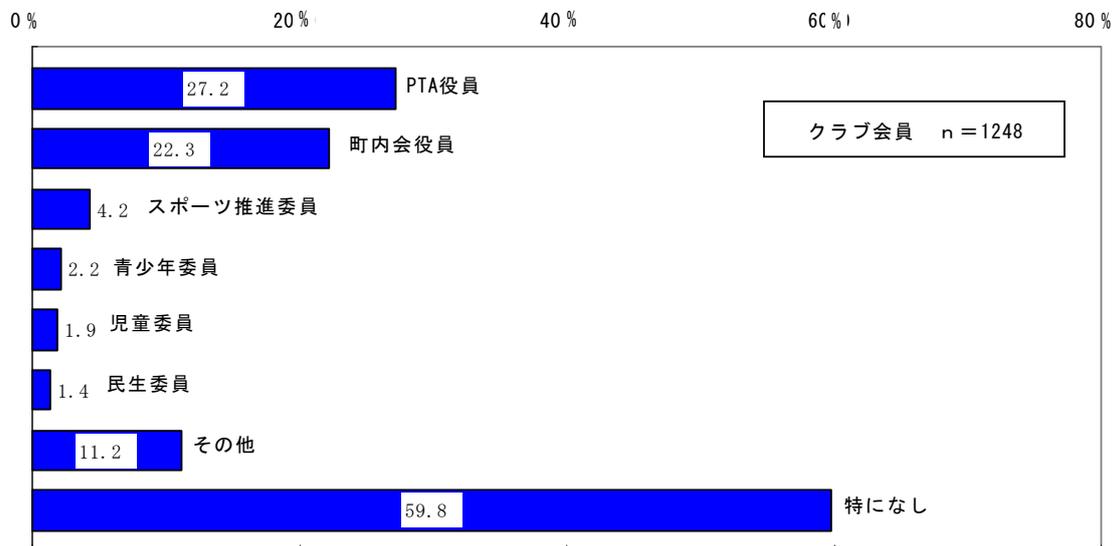


図3-6 地域で経験したことがある役職

地域で経験したことがある役職（図3-6）で、クラブ会員の40.2%が、地域の役員や委員を経験していることがわかった。「PTA役員」が27.2%、「町内会役員」が22.3%の回答であった。

(4) 現在の生活について
ア 現在の健康状態

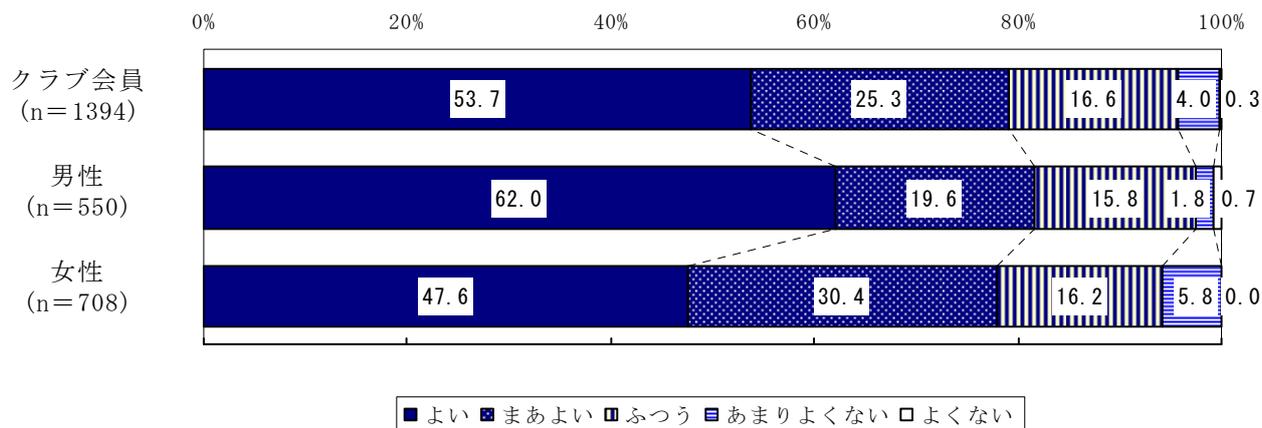
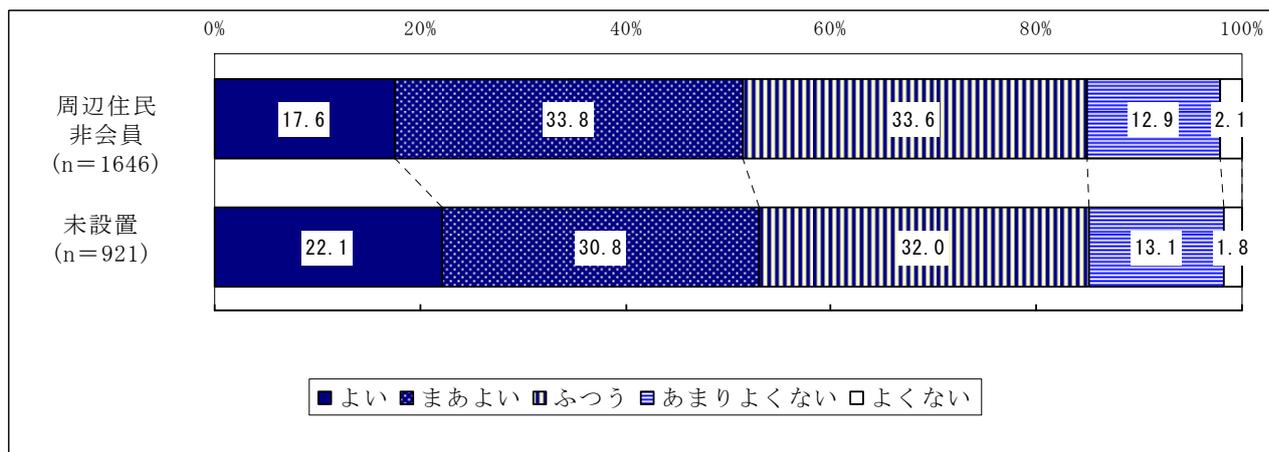


図 4-1 現在の健康状態

現在の健康状態（図 4-1）で、「よい」の回答は 53.7%で、「まあよい」の回答は 25.3%であった。「よい」、「まあよい」を合わせた 79.0%は、概ね健康状態がよいと感じていることがわかった。

(参考資料) 総合型地域スポーツクラブの設立効果に関する調査研究報告書より一部抜粋 (文部科学省)



イ 精神的な落ち込みや不快感を感じる割合

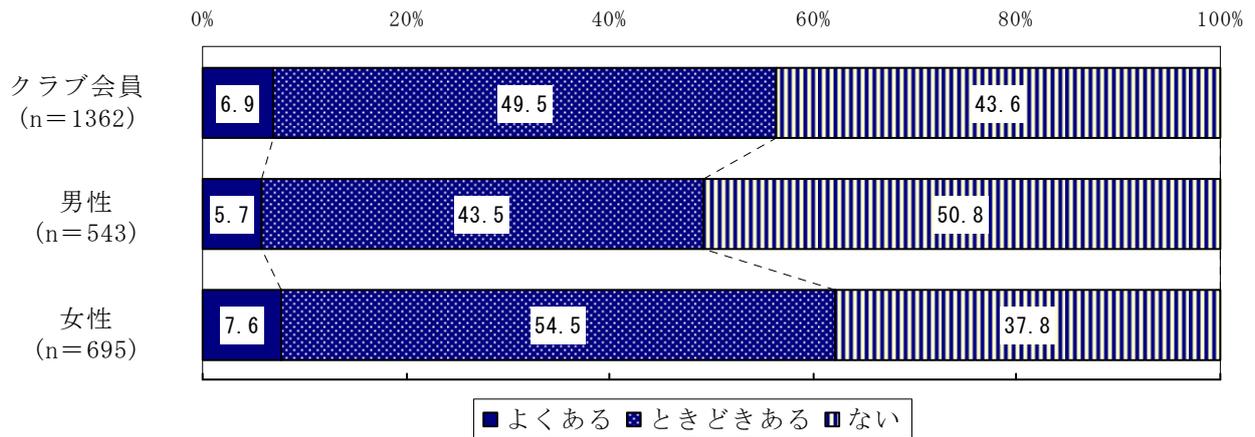
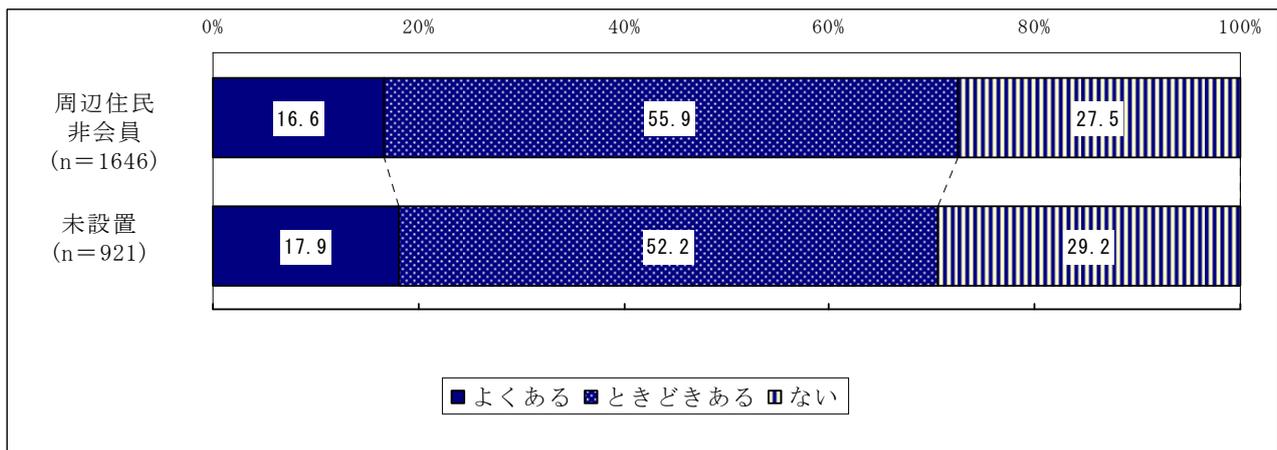


図 4-2 精神的な落ち込みや不快感

精神的な落ち込みや不快感（図 4-2）で、「ない」の回答が 43.6%で、「よくある」の回答は 6.9%と低く、精神的な落ち込みや不快感を感じる人の割合は低い結果であった。

（参考資料）総合型地域スポーツクラブの設立効果に関する調査研究報告書より一部抜粋（文部科学省）



ウ ボランティア活動への参加

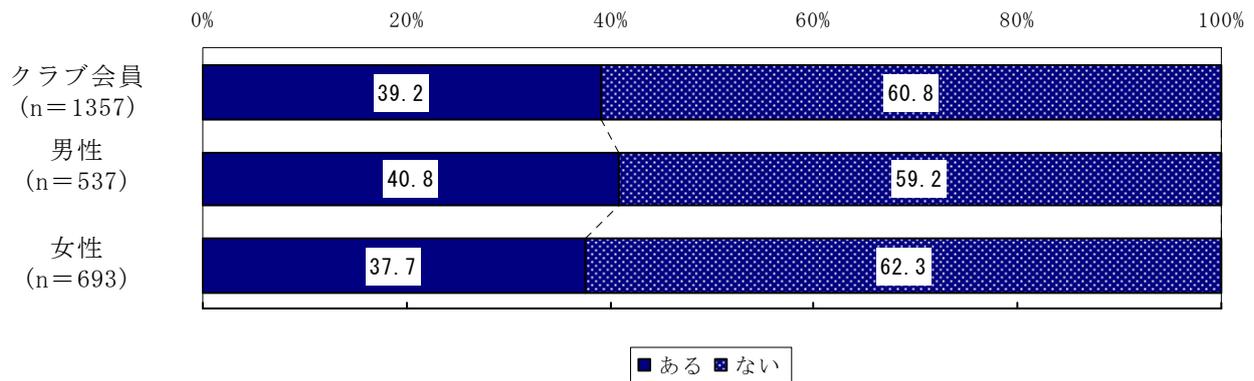
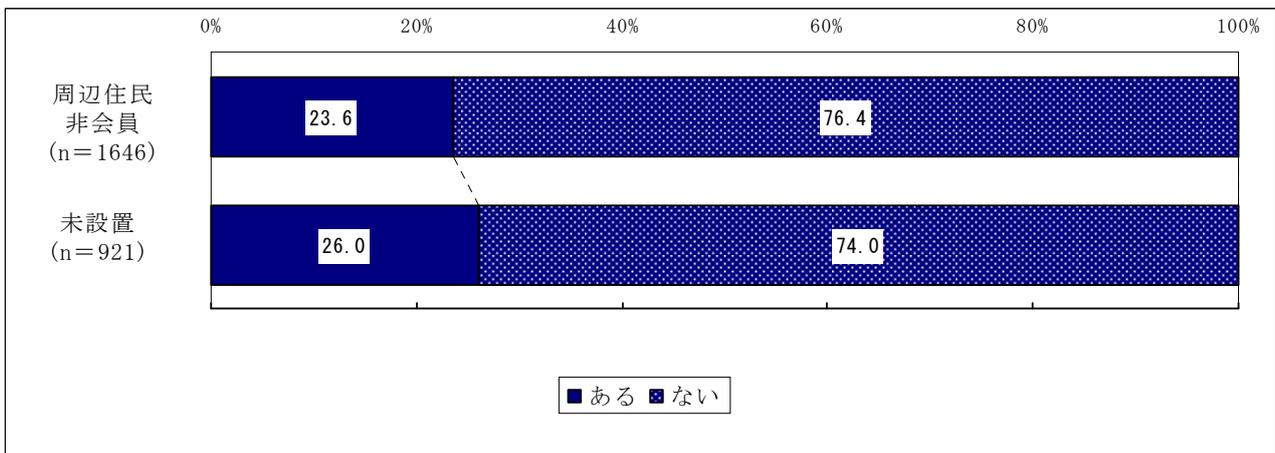


図 4-3 ボランティア活動への参加

ボランティア活動への参加（図 4-3）で、「はい」の回答は 39.2%であった。

（参考資料）総合型地域スポーツクラブの設立効果に関する調査研究報告書より一部抜粋（文部科学省）



エ ボランティア活動の頻度について

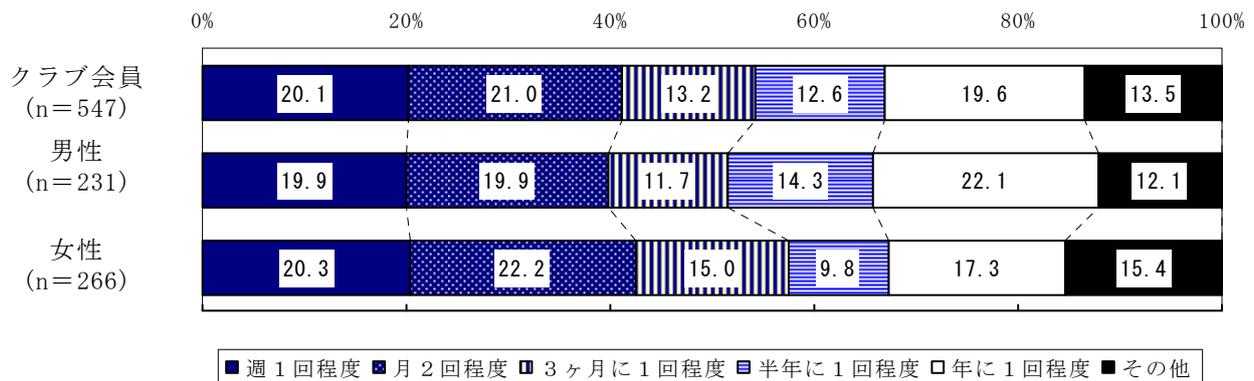


図 4-4 ボランティア活動の頻度

ボランティア活動の頻度（図 4-4）で、「週 1 回程度」の回答が 20.1%、「月 2 回程度」が 21.0%であった。

オ ボランティア活動のきっかけについて

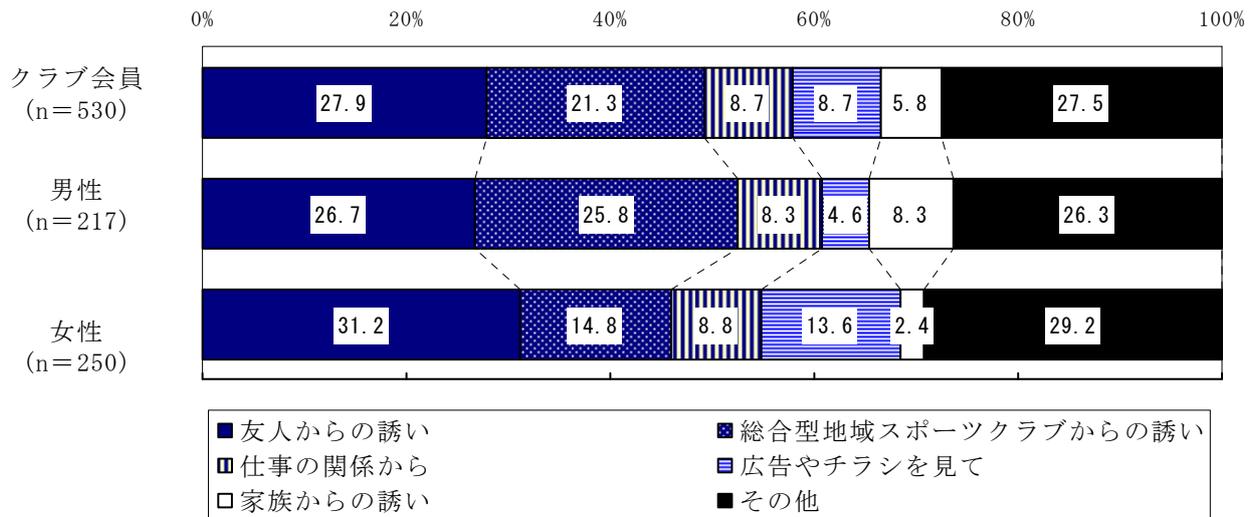


図 4-5 ボランティア活動のきっかけ

ボランティア活動のきっかけについて（図 4-5）で、最も回答率が高いのは、「友人からの誘い」の 27.9%であった。続いて、「総合型クラブからの誘い」の 21.3%となった。

カ ボランティア活動の充実感について

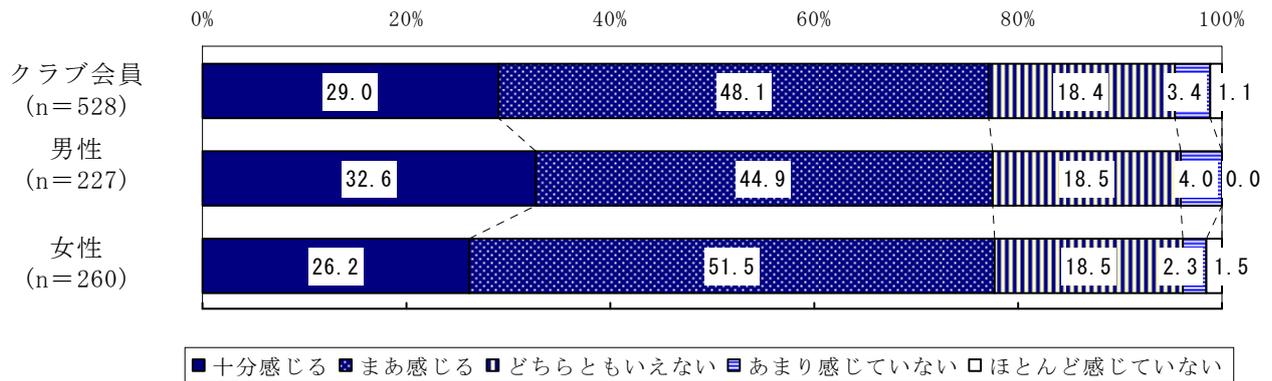


図 4-6 ボランティア活動の充実感

ボランティア活動の充実感（図 4-6）で、「十分感じる」の回答が 29.0%で、「まあ感じる」が 48.1%であった。ボランティア活動に参加している会員は、概ね充実感を感じていることがわかった。

キ 充実していると感じる時間

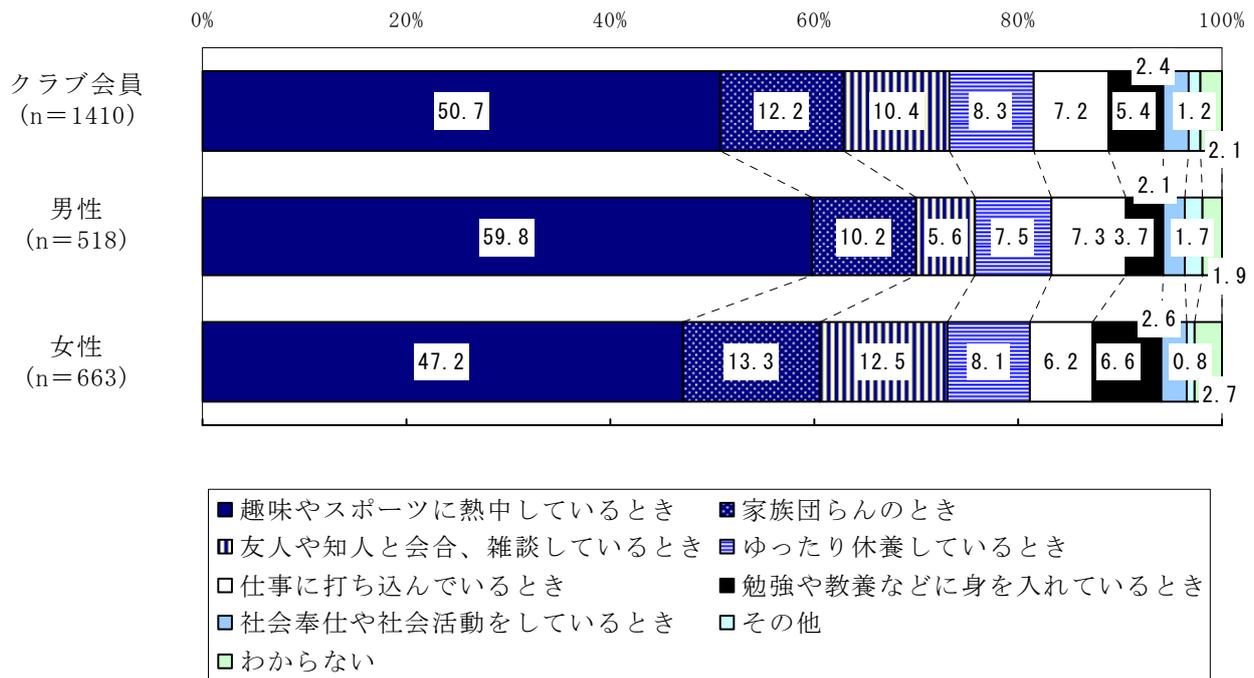


図 4-7 充実していると感じる時間

充実していると感じる時間（図 4-7）で、最も回答率が高いのは、「趣味やスポーツに熱中しているとき」50.7%であった。続いて「家族団らんのとき」12.2%、「友人や知人と会合、雑談しているとき」10.4%であった。男女共に、「趣味やスポーツに熱中しているとき」が最も多く、男性は「家族団らんのとき」10.2%、「ゆったり休養しているとき」7.5%、女性は、「家族団らんのとき」13.3%、「友人や知人と会合、雑談しているとき」12.5%で、男女で差異が見られた。

(5) 総合型クラブでの活動状況および総合型クラブ加入前の活動について ア クラブ所属形態について

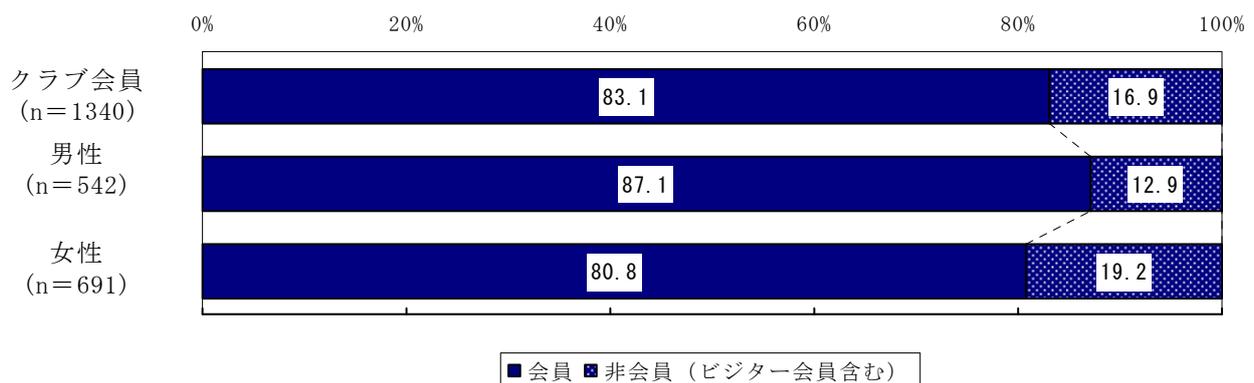


図 5-1 クラブ所属形態

クラブ所属形態（図 5-1）で、「会員」の回答が 83.1%であり、「非会員（ビジター会員含む）」の回答が 16.9%であった。

イ 会員歴について

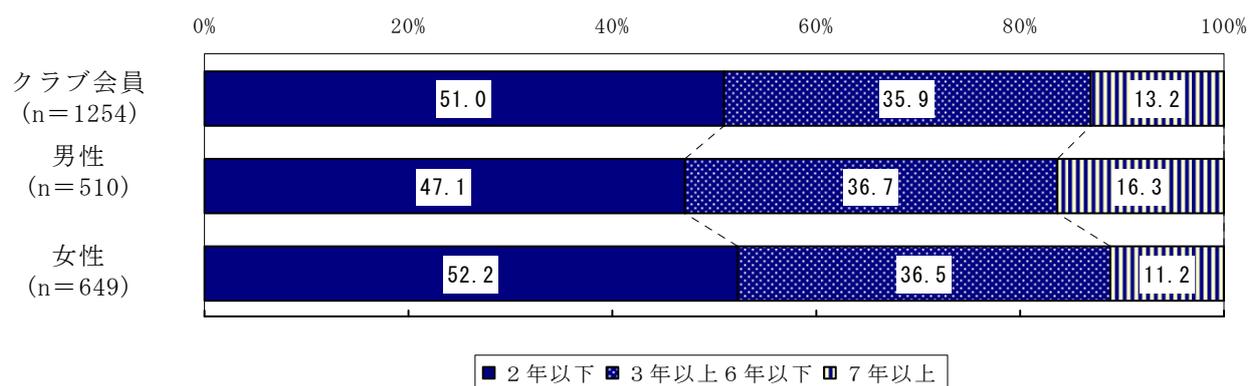


図5-2 会員歴

会員歴（図5-2）で、「2年以下」の回答が51.0%であった。「7年以上」が13.2%となっている。

ウ 現在の参加種目について

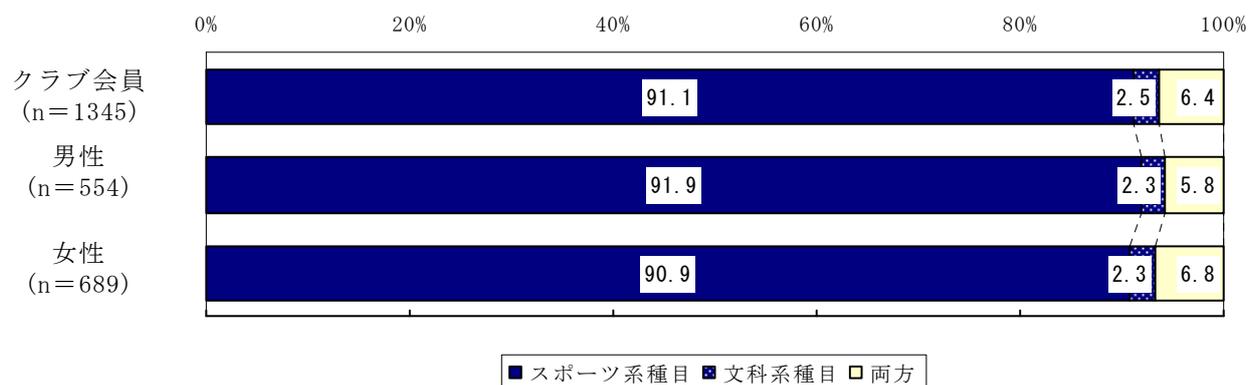


図5-3 現在の参加種目

現在の参加種目（図5-3）で、「スポーツ系種目」への参加が91.1%であった。スポーツ系と文化系の「両方」の回答は、6.4%であった。

エ 現在の参加種目数について

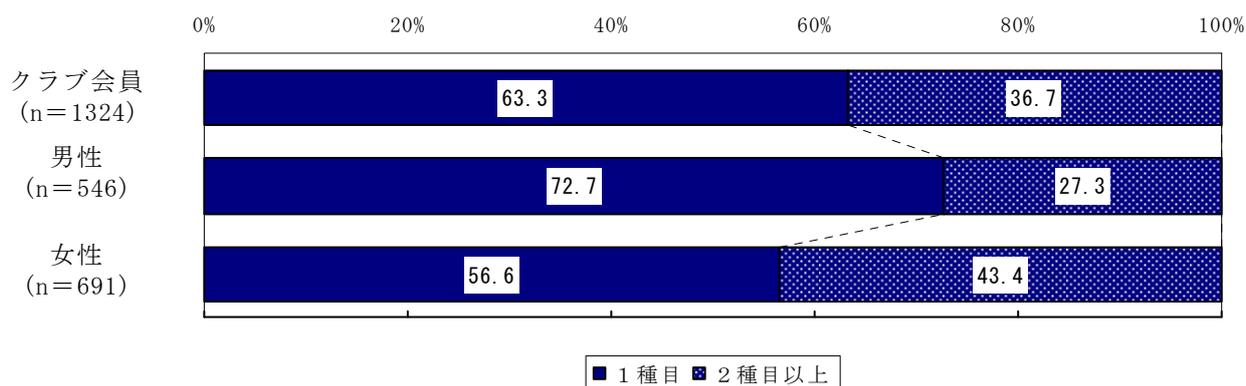


図5-4 現在の参加種目数

現在の参加種目数（図5-4）で、「2種目以上」の回答が36.7%であった。男性は、「2種目以上」が27.3%、女性は「2種目以上」が43.4%で、男女で差が見られた。

オ 総合型地域スポーツクラブ加入前にサークルやクラブ等で活動していましたか

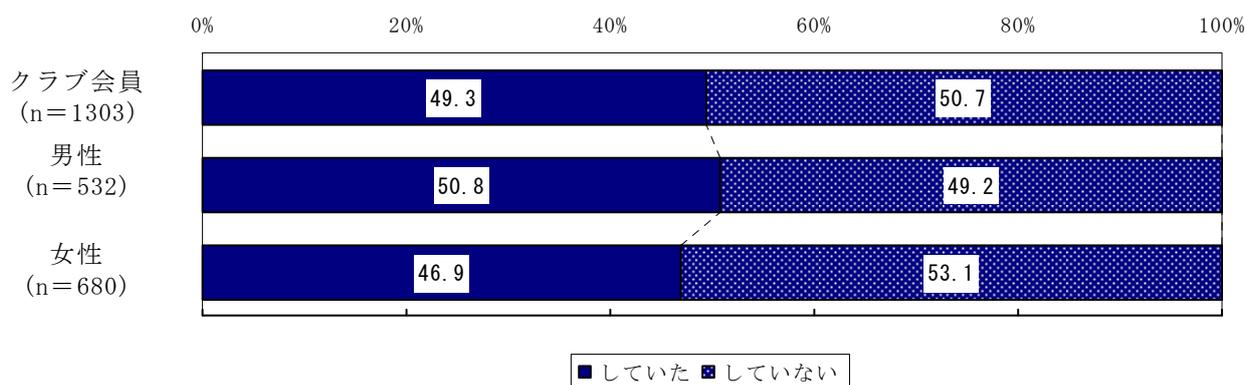


図5-5 総合型クラブ加入前の活動状況

総合型クラブ加入前の活動状況（図5-5）で、「していない」の回答が50.7%であった。

カ 活動期間について（一番長く活動している種目）

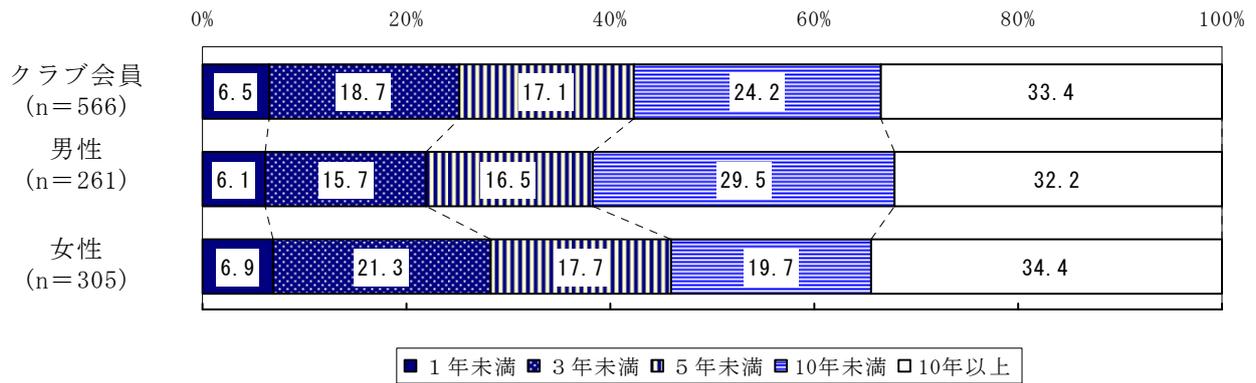


図5-6 活動期間

活動期間（図5-6）で、「10年以上」の回答が33.4%、続いて「10年未満」24.2%、「3年未満」18.7%であった。

(6) 総合型クラブへの加入と生活について

ア 行う運動やスポーツの内容・種目は広がったと思うか

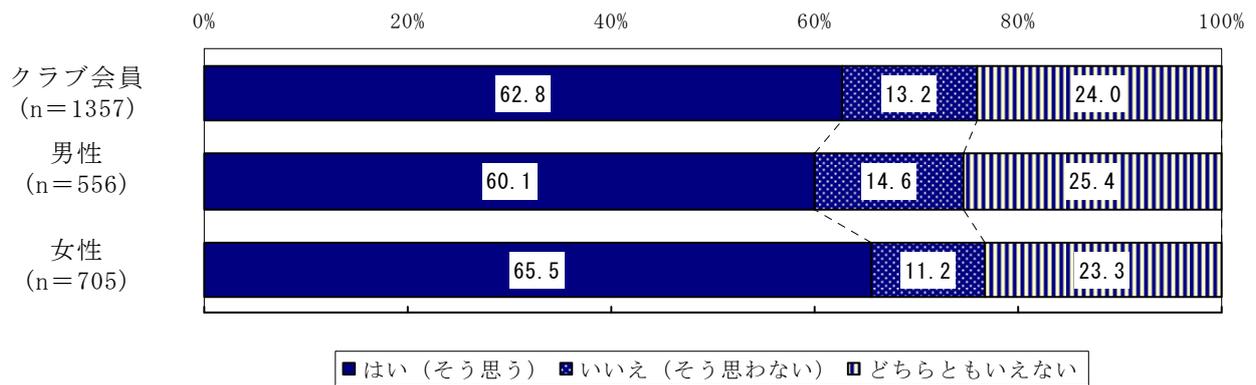


図6-1 運動やスポーツの内容・種目の広がり

運動やスポーツの内容や種目が広がり（図6-1）で、「はい（そう思う）」の回答が62.8%であった。

イ 行う運動やスポーツの内容・種目の広がりのきっかけについて

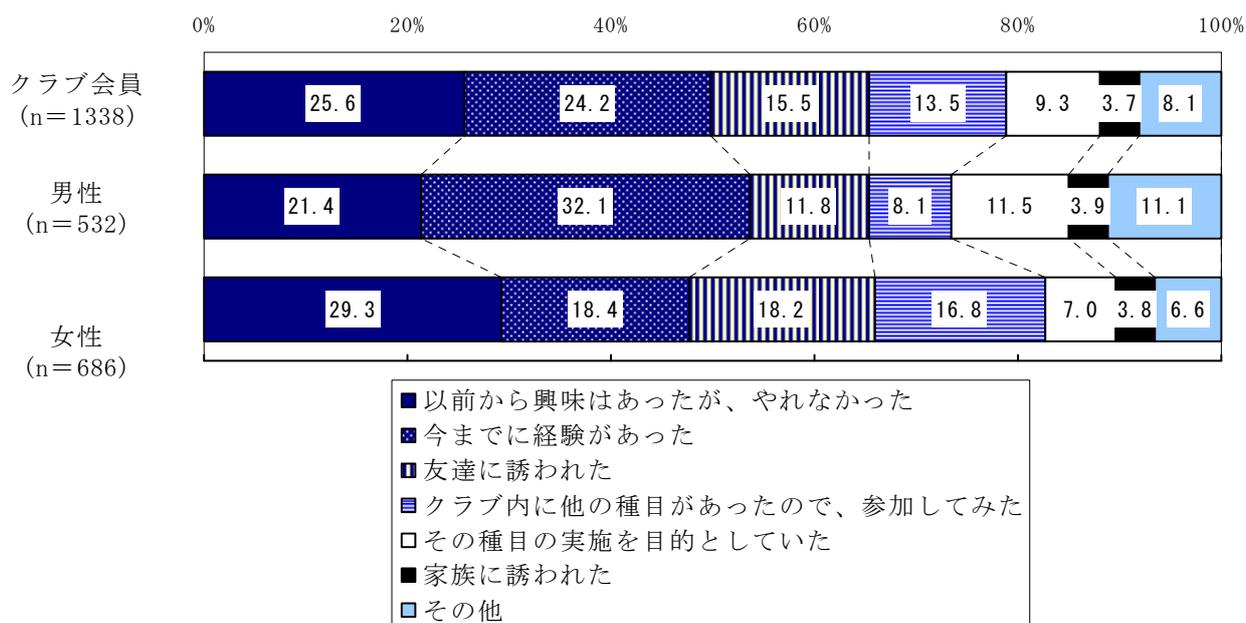


図 6-2 運動やスポーツの内容・種目が広がったきっかけ

運動やスポーツの内容・種目が広がったきっかけ（図 6-2）で、最も回答率が高いのは、「以前から興味はあったが、やれなかった」の 25.6%であった。続いて、「今までに経験があった」24.2%、「友達に誘われた」15.5%であった。男性は「今までに経験があった」32.1%、「以前から興味はあったが、やれなかった」21.4%、「友達に誘われた」11.8%であった。女性は「以前から興味はあったが、やれなかった」29.3%、「今までに経験があった」18.4%、「友達に誘われた」18.2%で、男女で差異が見られた。

ウ クラブの子どもたち（中学生以下）との交流【高校生以上の方のみ回答】

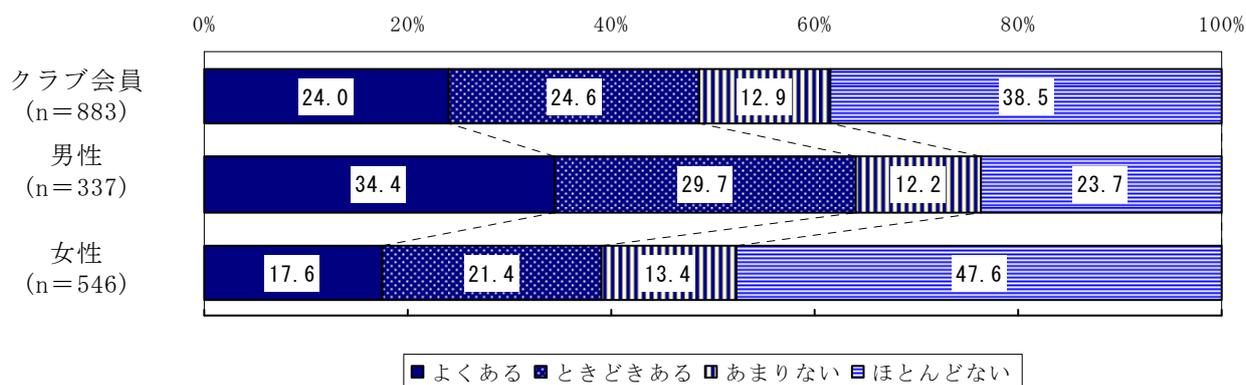


図 6-3 子どもたちとの交流

子どもたちとの交流（図 6-3）で、「よくある」の回答が 24.0%、「ほとんどない」の回答が 38.5%であった。男性は「よくある」34.4%、女性は「ほとんどない」47.6%で、男女で差異が見られた。

エ クラブの大人（高校生以上）との交流【中学生以下の方のみ回答】

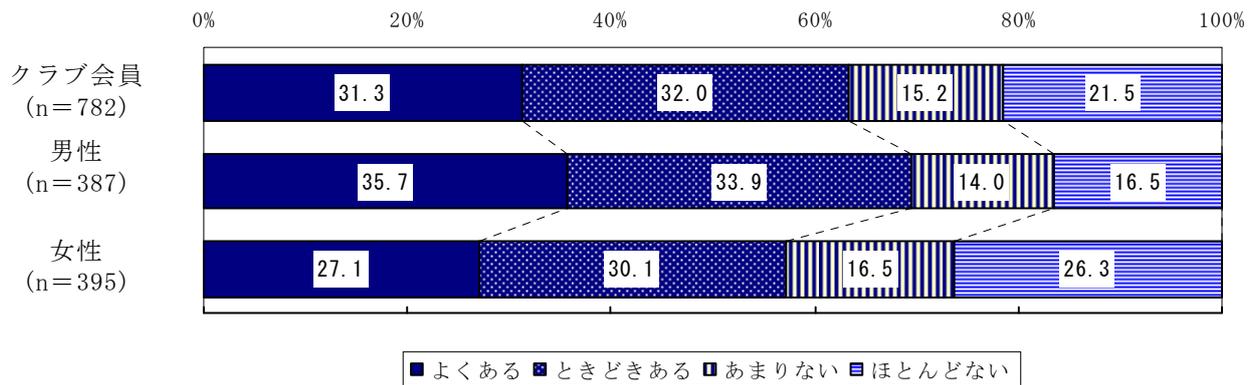


図 6-4 大人との交流

大人との交流（図 6-4）で、「よくある」の回答が 31.3%であった。男性は「よくある」35.7%、「ときどきある」33.9%であった。女性は「ときどきある」30.1%、「よくある」27.1%であった。

オ クラブへの愛着や親しみ

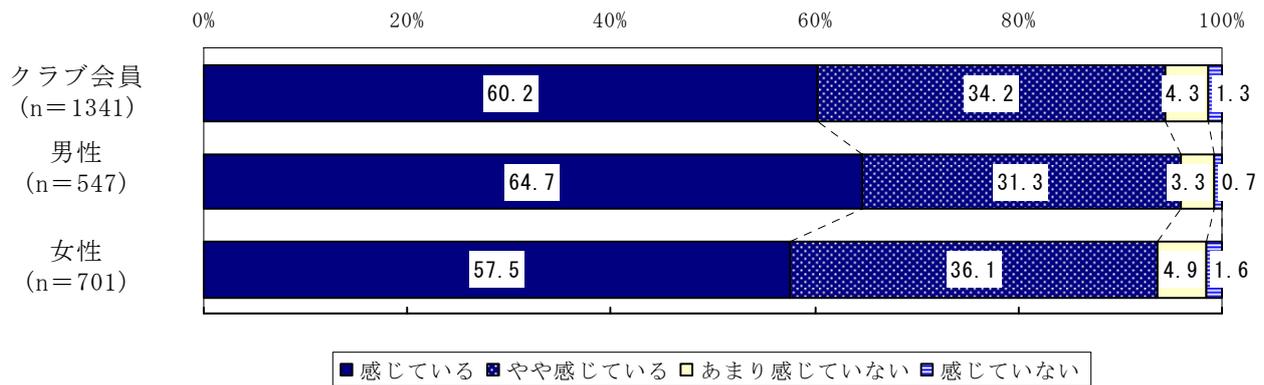


図 6-5 クラブへの愛着や親しみ

クラブへの愛着や親しみ（図 6-5）で、「感じている」の回答が 60.2%、「やや感じている」の回答が 34.2%であった。

カ クラブでの活動の満足度

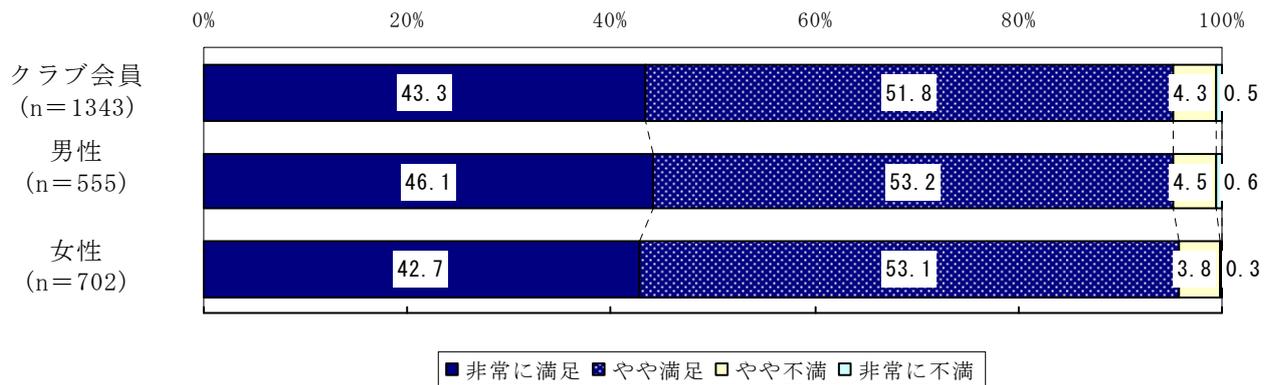


図 6-6 クラブでの活動の満足度

クラブでの活動の満足度（図 6-6）で、「非常に満足」の回答が 43.3%、「やや満足」の回答が 51.8%で、クラブ会員の 95.1%は、クラブでの活動に概ね満足していることがわかった。

キ 健康状態や生活への影響<1>

○健康状態がよくなったと感じますか

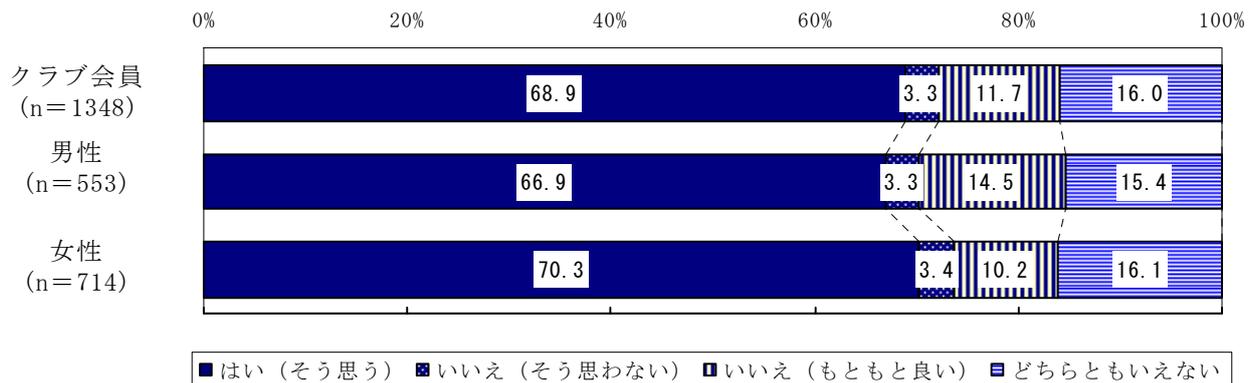


図 6-7 健康状態がよくなったか

健康状態がよくなったか（図 6-7）で、「はい」の回答が 68.9%、「もともと良い」の回答が 11.7%であった。

ク 健康状態や生活への影響<2>

○バランスの良い食事を心がけるようになったと思いますか

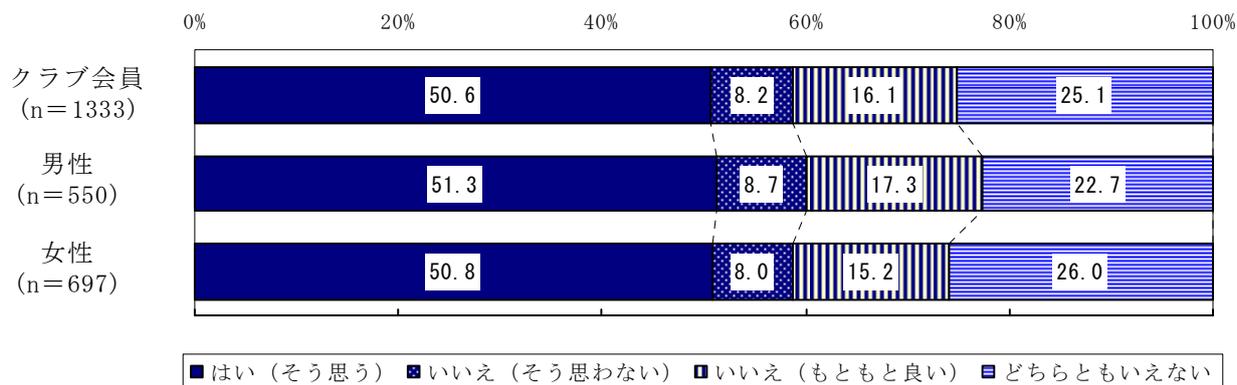


図6-8 バランスの良い食事を心がけるようになったか

バランスの良い食事を心がけるようになったか(図6-8)で、「はい」の回答が50.6%であった。

ケ 健康状態や生活への影響<3>

○精神的に大きく落ち込んだり、強い不快感(不安、イライラなど)を感じたりすることが少なくなったと思いますか

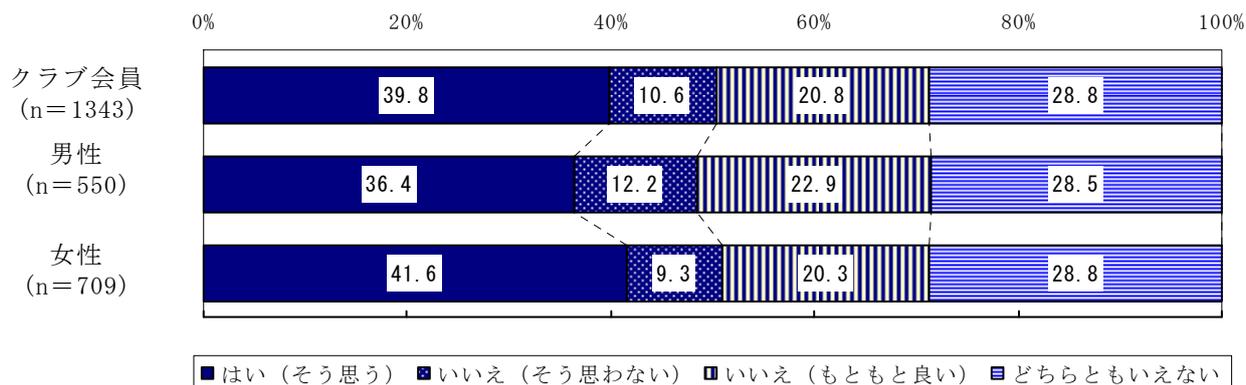


図6-9 精神的に落ち込んだり、不快感が少なくなったか

精神的に落ち込んだり、不快感が少なくなったか(図6-9)で、「はい」の回答が39.8%、「もともと良い」の回答が20.8%であった。

コ 健康状態や生活への影響<4>

○余暇(仕事や学校が休みの日)をお住まいの地域で過ごす時間が増えたと思いますか

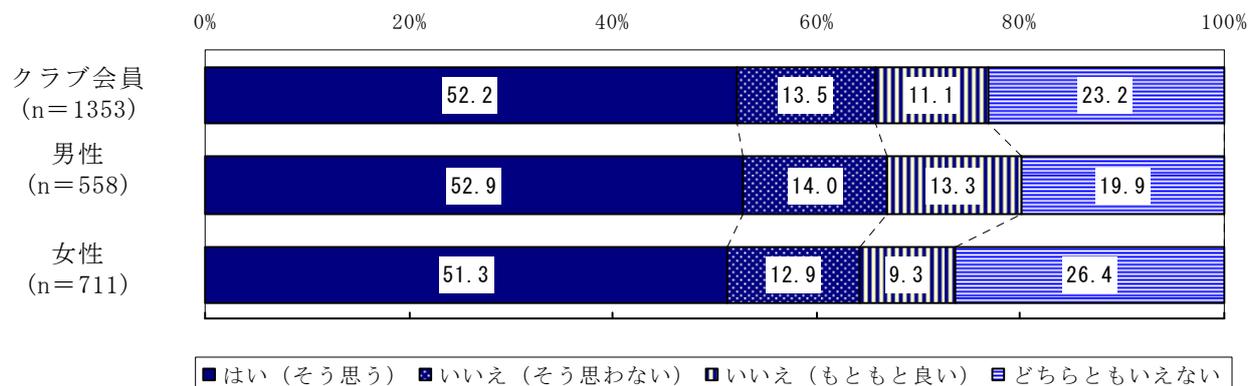


図6-10 余暇を住んでいる地域で過ごす時間が増えたか

余暇を住んでいる地域で過ごす時間が増えたか(図6-10)で、「はい」の回答が52.2%であった。

サ 健康状態や生活への影響<5>

○地域の人々と接する機会が増えたと思いますか

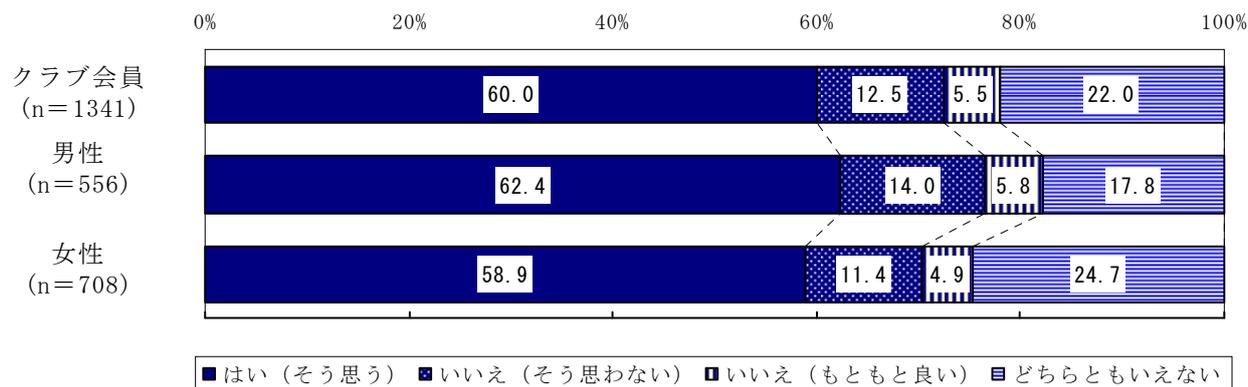


図6-11 地域の人々と接する機会が増えたか

地域の人々と接する機会が増えたか(図6-11)で、「はい」の回答が60.0%であった。

シ クラブ入会前と比べて効果があったと感じることは何ですか(複数回答可)

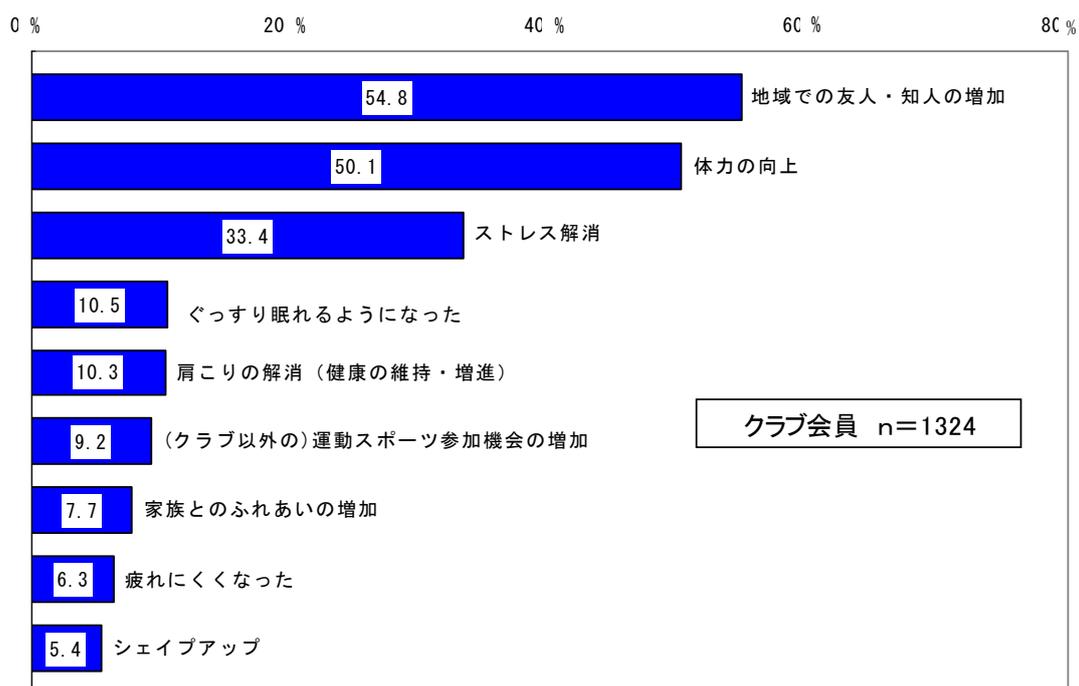


図6-12 クラブ入会前と比べて効果があったと感じること

クラブ入会前と比べて効果があったと感じること(図6-12)で、最も回答率が高いのは、「地域での友人・知人の増加」の54.8%であった。続いて「体力の向上」50.1%、「ストレス解消」33.4%であった。

2 分析および考察

(1) 「総合型地域スポーツクラブの設立効果に関する調査研究」報告書における（文部科学省、平成22年3月）の周辺住民（非会員）、未設置自治体住民への調査結果^{*1}との比較・分析

※1は、p3を参照

ア 運動やスポーツを行った日数

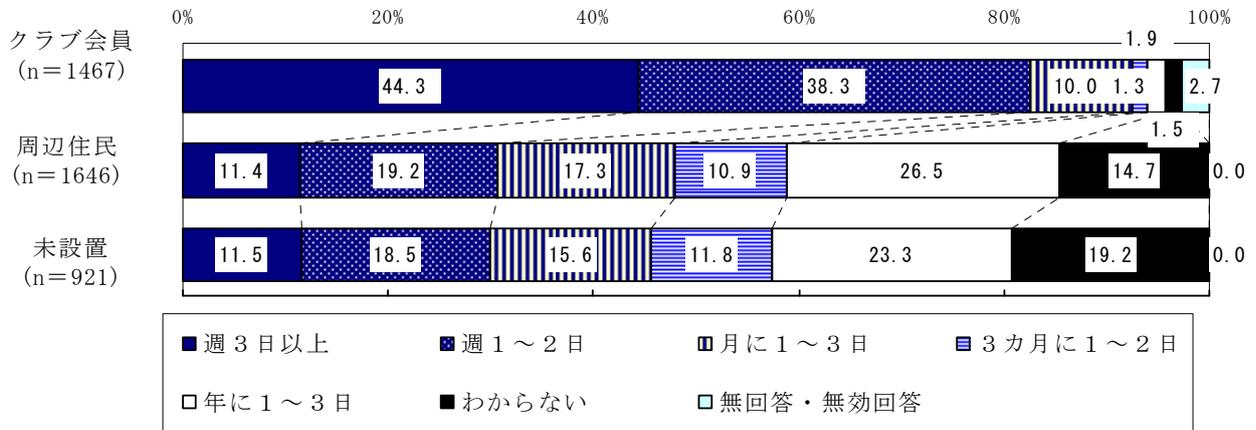


図7-1 運動やスポーツを行った日数

運動やスポーツを行った日数（図7-1）について、クラブ会員と周辺住民、未設置と比較したものを示した。クラブ会員は、「週3日以上」の回答が44.3%であり、周辺住民や未設置は11.4～11.5%であった。クラブ会員のスポーツ実施率が高い結果となった。

イ 住んでいる地域の住みやすさ

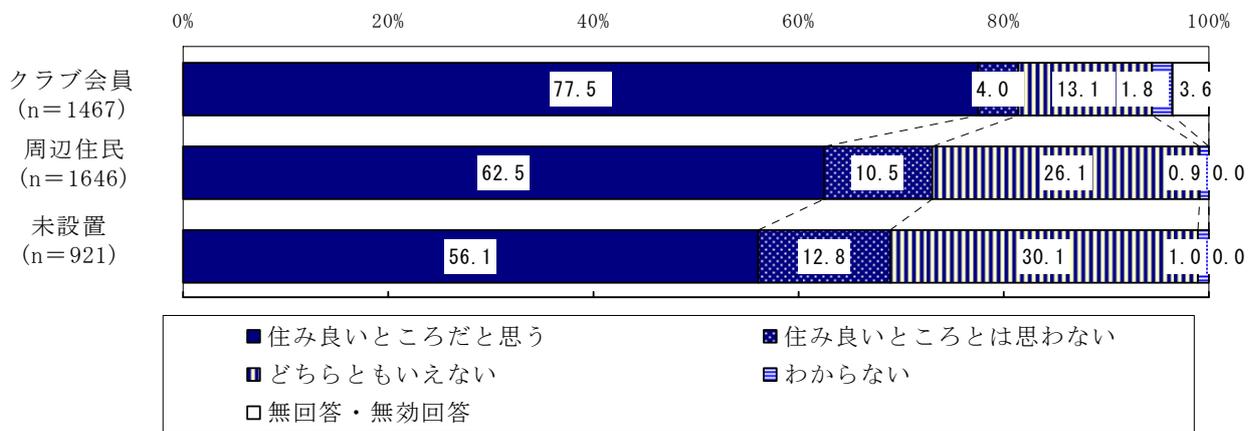


図7-2 住んでいる地域の住みやすさ

住んでいる地域の住みやすさ（図7-2）について、クラブ会員と周辺住民、未設置と比較したものを示した。クラブ会員は「住み良いところだと思う」の回答が77.5%、周辺住民が62.5%、未設置が56.1%であり、クラブ会員が住み良いと感じている傾向が見られた。

ウ 地域への愛着や親しみ

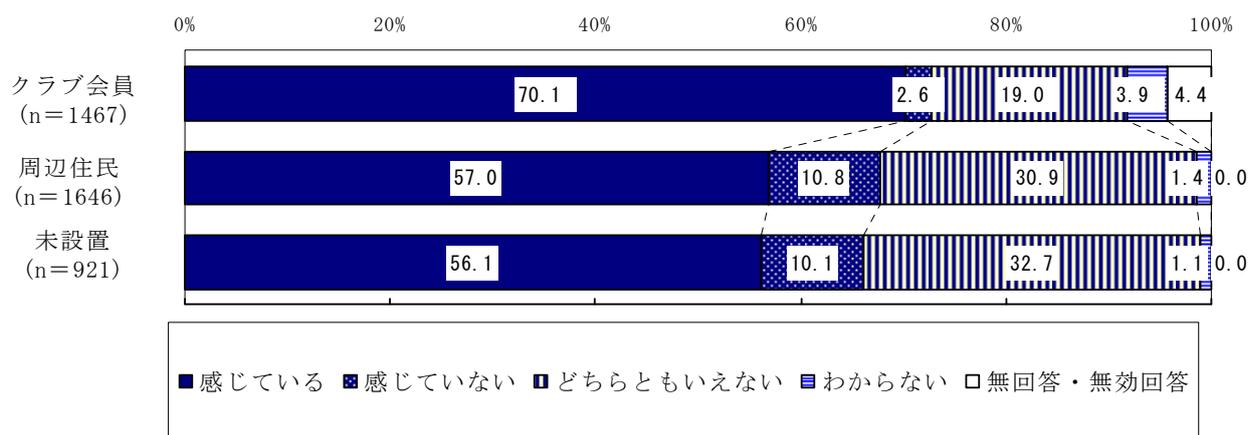


図 7-3 地域への愛着や親しみ

地域への愛着や親しみ（図 7-3）について、クラブ会員と周辺住民、未設置と比較したものを示した。クラブ会員は「感じている」の回答が 70.1%、周辺住民が 57.0%、未設置が 56.1% であり、クラブ会員が地域への愛着や親しみを感じている傾向が見られた。

エ 地域のスポーツ環境の充実度＜1＞

○ 地域のスポーツ施設が充実しているか

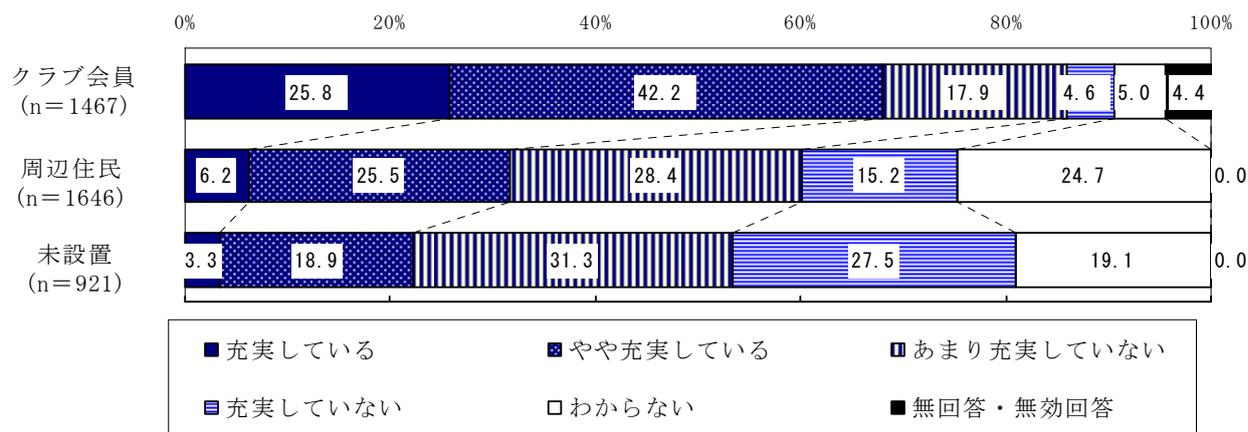


図 7-4 スポーツ施設の充実度

スポーツ施設の充実度（図 7-4）について、クラブ会員と周辺住民、未設置と比較したものを示した。クラブ会員は「充実している」と「やや充実している」の回答を合わせると 68.0% であった。周辺住民は、「充実している」と「やや充実している」の回答を合わせると 31.7%、未設置は、「充実している」と「やや充実している」の回答を合わせると 22.2% であった。総合型クラブが設立されたことにより、地域のスポーツ環境が整備されはじめ、概ね充実しているという回答が多くなったと推察される。

オ 地域のスポーツ環境の充実度＜２＞

○地域のスポーツ施設やスポーツクラブ等で提供されているプログラムは充実していると思いますか

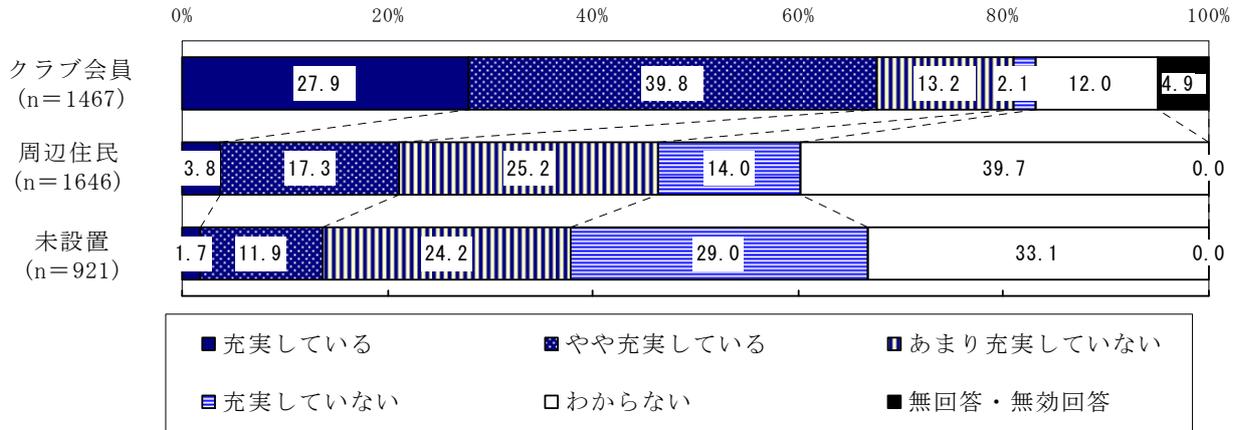


図 7-5 プログラムの充実度

プログラムの充実度（図 7-5）について、クラブ会員と周辺住民、未設置と比較したものを示した。クラブ会員は「充実している」の回答が 27.9%であった。周辺住民は 3.8%、未設置は 1.7%であった。総合型クラブが、複数種目のプログラムを設定していることから、地域住民の多様なニーズに応えられる状況が、数値の差となって現れたものと考えられる。また、総合型クラブに加入していない周辺住民と未設置の「わからない」の回答が 39.7%、33.1%であり、地域で提供されているプログラムに関する実態を把握していないと推察される。

カ 現在の健康状態

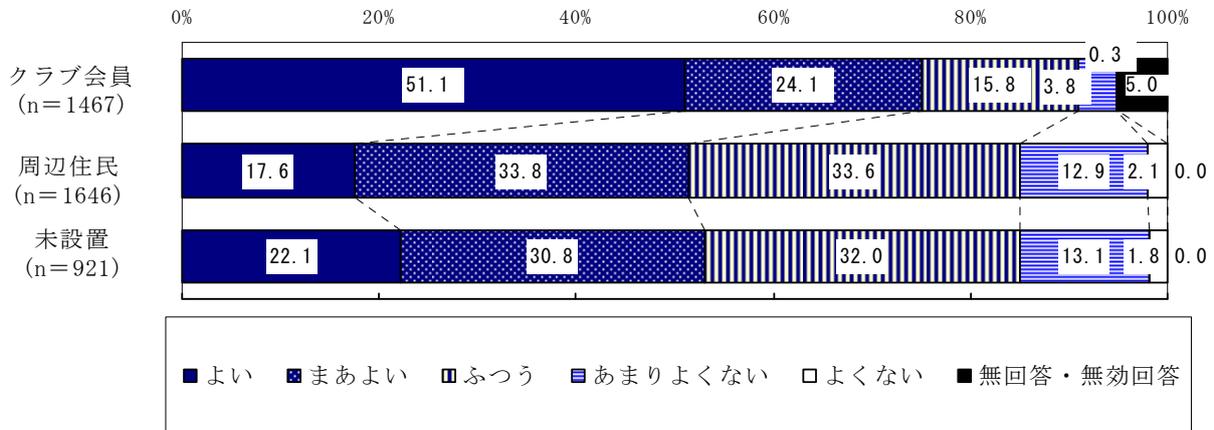


図 7-6 現在の健康状態

現在の健康状態（図 7-6）について、クラブ会員と周辺住民、未設置と比較したものを示した。クラブ会員は「よい」の回答が 51.1%であった。周辺住民は 17.6%、未設置 22.1%であった。総合型クラブの設立が健康状態に良い影響をもたらしていると考えられる。

キ 精神的な落ち込みや不快感を感じる割合

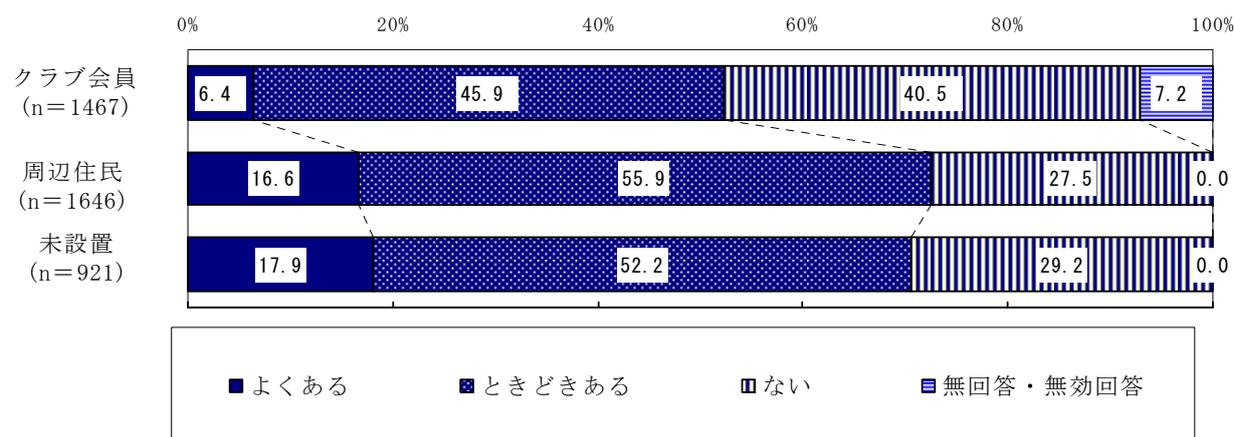


図 7-7 精神的な落ち込みや不快感

精神的な落ち込みや不快感（図 7-7）について、クラブ会員と周辺住民、未設置と比較したものを示した。クラブ会員は「よくある」の回答が 6.4%であった。周辺住民 16.6%、未設置 17.9%であった。一方、クラブ会員は「ない」の回答が 40.5%であり、周辺住民が 27.5%、未設置 29.2%であった。総合型クラブでの活動が、精神面に良い影響を及ぼしていることが考えられる。

ク ボランティア活動への参加

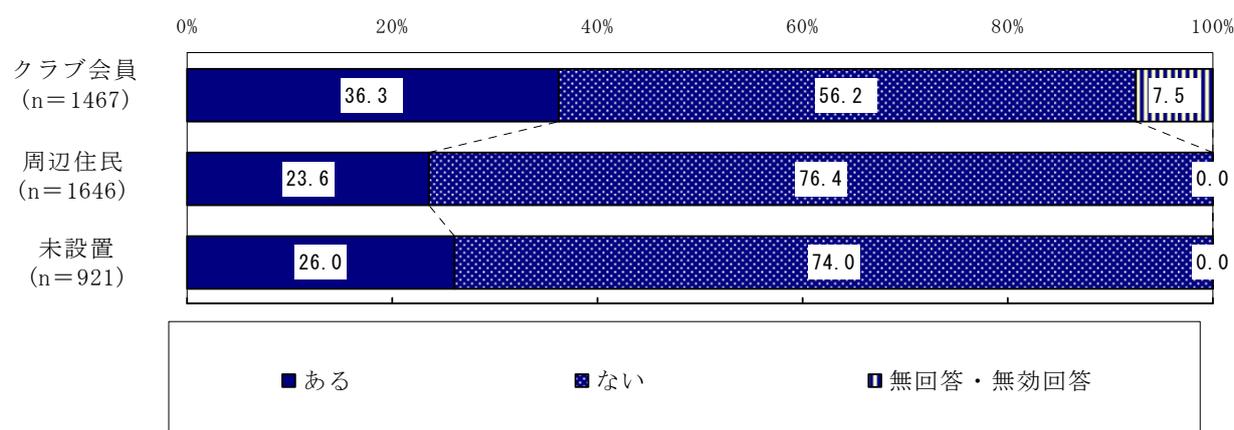


図 7-8 ボランティア活動への参加

ボランティア活動への参加（図 7-8）について、クラブ会員と周辺住民、未設置と比較したものを示した。クラブ会員は「ある」の回答が 36.3%、周辺住民が 23.6%、未設置が 26.0%であった。クラブ会員は、ボランティア活動への参加意欲が高い傾向が見られた。

(2) 総合型クラブのもたらす効果について分析および考察

ア 運動やスポーツの実施状況にもたらす効果について

クラブ会員の6割以上が運動やスポーツの内容・種目が、広がったと感じており、(図6-1) そのきっかけとして約3割が、「以前から興味はあったが、やれなかった」と回答している。(図6-2)

クラブ会員の半数以上が総合型クラブ加入前にサークルやクラブ等で活動していないことから、(図5-5) 総合型クラブが設立されたことにより、運動やスポーツに親しむ地域住民が増加し、さらに、興味があっても参加できなかった種目への広がりやクラブ内の他の種目への参加が見られるなど、地域住民の運動やスポーツの実施状況に大きく影響したといえる。様々なスポーツ活動を行う場の創出が行われたことによる、総合型クラブが運動やスポーツの実施状況にもたらした効果だと考える。

さらに、週1日以上運動やスポーツを行っているスポーツ実施状況は、周辺住民や未設置が約3割に対し、クラブ会員は8割が行っている。(図7-1) その内訳を見ると、週3日以上運動やスポーツを行っている世代の割合は、20歳未満が最も多く、週1～2日運動やスポーツを行っている世代の割合は20歳以上が多い割合であった。(図8-1) 週3日以上運動やスポーツを行っている理由を世代別で見ると、20歳未満の世代は、目標や記録への挑戦、競技力向上を目指す傾向が見られ、20歳以上は、健康や体力の保持増進を意識している傾向が見られた。(図8-2) 世代によって、総合型クラブで活動している目的に違いがあることがわかった。

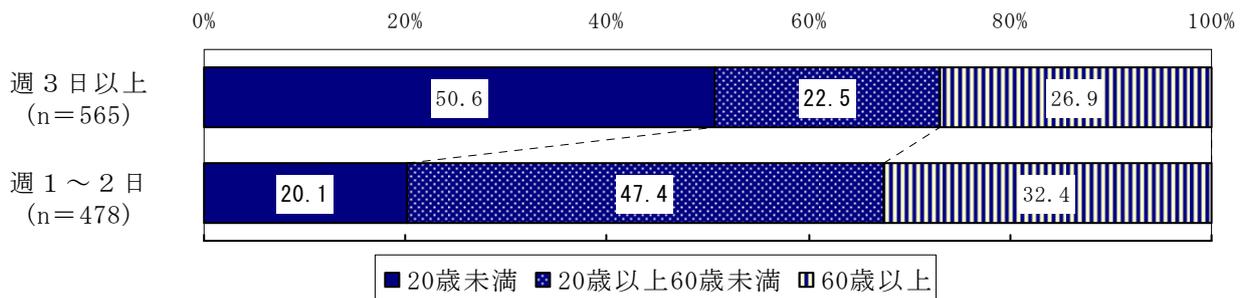


図8-1 運動やスポーツを行った日数による世代の割合

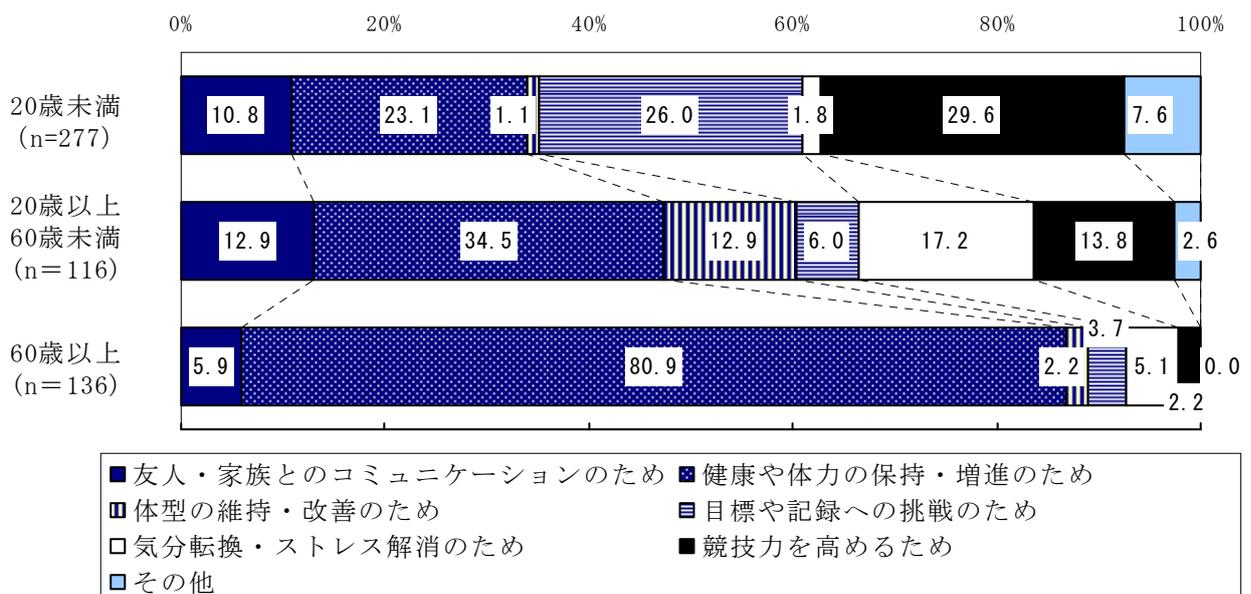


図8-2 週3日以上運動やスポーツを行っている理由の割合

イ 地域住民の交流にもたらす効果について

総合型クラブ入会後に、余暇を地域で過ごす時間が増えたと感じている会員が半数を超えている。(図6-10) また、地域の人々と接する機会が増えたと感じている会員が6割を超える状況であった。(図6-11) さらに、総合型クラブへ入会したことで、地域の友人・知人の増加した会員が、半数以上いる結果となった。(図6-12) これを、世代の割合にすると20歳以上60歳未満が高い割合となった。(図9-1)

余暇を住んでいる地域で過ごす時間が増えたと回答したクラブ会員のうち、地域の人々と接する機会が増えたと感じる会員は約8割となった。(図9-2) その会員の世代の割合は、20歳以上60歳未満が高い結果となった。(図9-3)

ボランティア活動への参加も、周辺住民と未設置は2割程度だったが、クラブ会員は3割を超える状況にあり、ボランティア活動に対する意欲が高い傾向が見られた。(図7-8) ボランティア活動のきっかけは、友人からの誘いが約3割で、総合型クラブからの誘いも約2割を占める割合であった。(図4-5)

これらのことから、地域住民の交流が活発に行われ、地域との結びつきや人間関係が構築された状況がうかがえ、地域スポーツ活動を通じて地域の結びつきや共助の精神で活動する「新しい公共」を担うコミュニティの核として、地域に変化をもたらすことがうかがえた。これは、総合型クラブが地域住民の交流にもたらす効果だと考える。

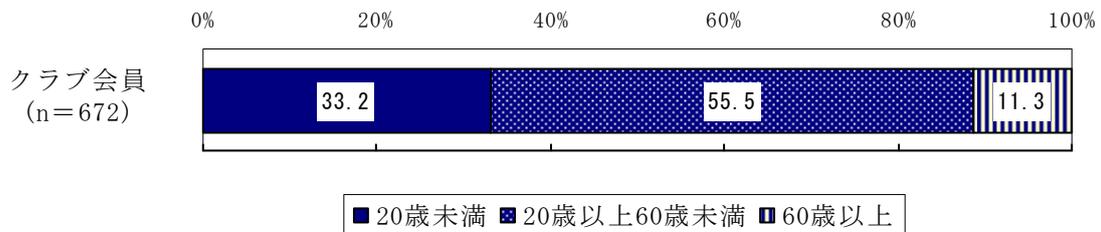


図9-1 友人・知人の増加を感じる世代の割合

総合型クラブ加入前と比べて効果があったと感じること(図6-12)より、「地域の友人・知人の増加」と回答した世代の割合を示したものである。

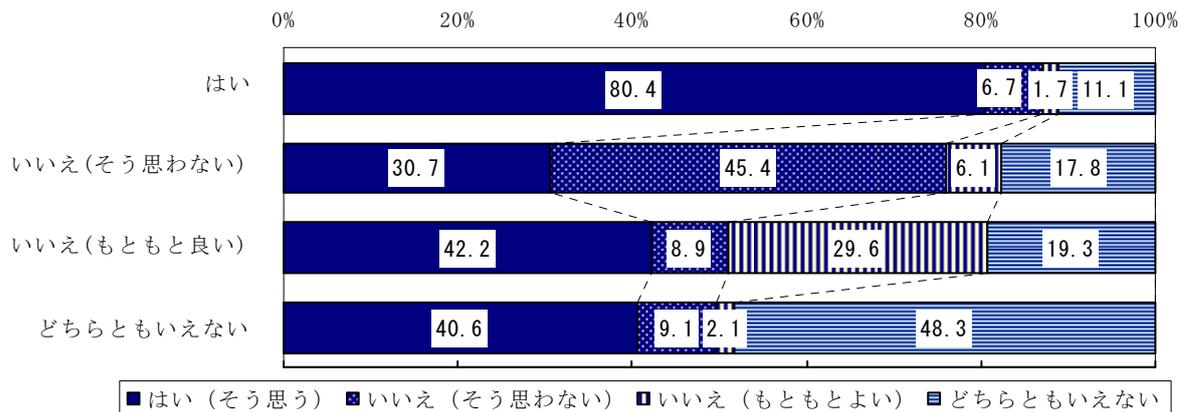


図9-2 地域で過ごす時間や人々と接する機会

縦軸を『余暇を住んでいる地域で過ごす時間が増えているか』の回答で、横軸を『地域の人々と接する機会が増えたか』の回答とした割合を図に示したものである。

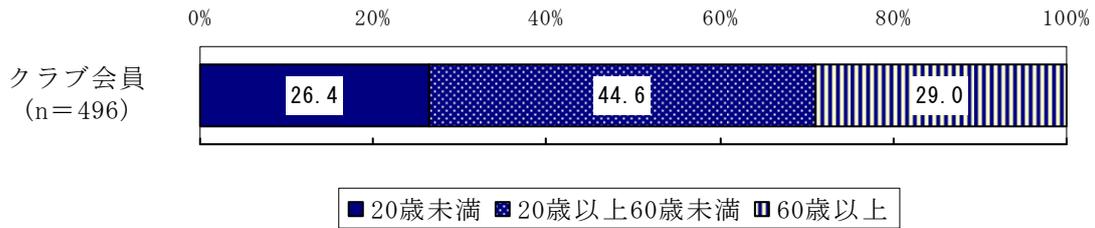


図9-3 過ごす時間も人々と接する機会も増えた世代の割合

図9-1の『余暇を住んでいる地域で過ごす時間が増えているか』の問いに対し、「はい」と回答した中で、『地域の人々と接する機会が増えたか』の問いに対しても、「はい」と回答した世代の割合に示したものである。

ウ 健康状態や生活にもたらす効果について

現在の健康状態が、「よい」「まあよい」と回答した割合が周辺住民や未設置が5割程度であったことに対し、クラブ会員は約8割であり、概ね良い傾向であることがわかった。(図7-6) 精神的な落ち込みや不快感を感じない割合も、クラブ会員が高い傾向であった。(図7-7)

また、クラブ入会後の健康状態の変化を見ると、「よくなった」との回答が約7割であった。(図6-7) また、バランスの良い食事を心がけるようになった会員も約半数であった。(図6-8) そして、精神的に大きく落ち込んだり、強い不快感(不安、イライラなど)を感じたりすることが少なくなったと感じている会員が約4割であった。(図6-9) さらに、効果があったと感じることとして、「体力の向上」や「疲れにくくなった」、「肩こりの解消(健康の維持・増進)」など、さまざまな変化をもたらした。(図6-12)

このことから、総合型クラブの設立されたことにより、クラブ会員の心身の健康の保持増進に良い影響を及ぼしていることが明らかになった。これも総合型クラブが健康状態や生活にもたらす効果だと考える。

【まとめ】

本研究の結果・分析から、「運動やスポーツの実施状況にもたらす効果」「地域住民の交流にもたらす効果」「健康状態や生活にもたらす効果」の3つの効果が明らかとなった。

これらの効果から、総合型クラブは、スポーツ活動の場となることはもとより、地域スポーツ活動を通して地域の絆や結びつきを発見するなど、共助の精神で活動する「新しい公共」を担うコミュニティの核として地域住民の交流に変化をもたらしたことがうかがえた。また、総合型クラブでの活動が、地域の人々の心身の健康保持増進等に、大きく寄与していることもうかがえた。

総合型クラブ創設は、個人を取り巻く環境を変え、社会全体として個人の健康を支え守る環境づくりとなり、子どもから高齢者まで全ての人々が共に支えあいながら希望や生きがいを持ち、ライフステージに応じて健やかで心豊かに生活できる社会の創出にもつながるものといえる。今後、より多くの総合型クラブが創設され、地域住民にとって身近な存在となることが期待される。

【今後に向けて】

本研究では、総合型クラブが創設されたことによる効果が明らかとなった。しかしながら、平成25年3月現在、神奈川県内の全市町村への総合型クラブ育成や中学校区程度での総合型クラブ育成には至っていない状況であり、本研究により明らかとなった効果をより多くの地域に波及させるため、「神奈川県らしい」地域住民による自主的な取組みを、引き続き支援していく必要があると考える。

今後さらに、総合型クラブが普及・定着するために、どう会員を確保するか、また、助成金に頼らず、どのように財源を確保するのか、さらに指導者の確保をどうするか、運営の方法や総合型クラブ組織のあり方などを探り、魅力を高める方策を具体化することが必要だと考える。

【引用文献】

- 1) 文部科学省スポーツ・青少年局企画・体育課（2000）スポーツ振興基本計画
- 2) 文部科学省スポーツ・青少年局スポーツ振興課（2012）平成24年度全国の総合型地域スポーツクラブ育成状況
- 3) 文部科学省スポーツ・青少年局スポーツ・青少年企画課（2011）スポーツ基本計画第1章1（2）スポーツ基本法の制定～背景とスポーツの果たす役割の明確化～
- 4) 厚生労働省（2014）健康日本21（第2次）第一 国民の健康の増進の推進に関する基本的な方向 四
- 5) 文部科学省（2010）「総合型地域スポーツクラブの設立効果に関する調査研究」報告書

平成24年度総合型地域スポーツクラブの会員意識調査

神奈川県立体育センター

アンケート調査実施についてのお願い

- この調査は、県内総合型地域スポーツクラブ会員の皆様の意識を把握し、総合型地域スポーツクラブのもたらす効果を明らかにすることを目的に、実施するものです。回答いただいた結果については、今後のスポーツ施策の参考にさせていただきます。
- アンケート調査につきましては、無記名で行うほか、回答は全て数字に変換のうえ、コンピューターにて統計的に処理します。記入いただいた内容を個別に公表することはありません。
- お忙しいところお手数をおかけしますが、趣旨を御理解の上、調査に御協力くださいますようお願い申し上げます。

【回答用紙の記入について】

- 1 質問をお読みいただき、該当する選択肢の番号を選び、マークシートの番号を塗りつぶしてください。
- 2 ボールペンで記入した場合には、訂正ができませんので、できるだけ鉛筆で記入してください。

(1) 運動やスポーツを行った日数（最も近い日数）

- ① 週3日以上
- ② 週1～2日
- ③ 月に1～3日
- ④ 3カ月に1～2日
- ⑤ 年に1～3日
- ⑥ わからない

(2) 運動やスポーツを行う理由（最も当てはまるもの）

- ① 友人・家族とのコミュニケーションのため
- ② 健康や体力の保持・増進のため
- ③ 体型の維持・改善のため
- ④ 目標や記録への挑戦のため
- ⑤ 気分転換・ストレス解消のため
- ⑥ 競技力を高めるため
- ⑦ その他

(3) 住んでいる地域の住みやすさ

- ① 住み良いところだと思う
- ② 住み良いところとは思わない
- ③ どちらともいえない
- ④ わからない

(4) 地域への愛着や親しみ

- ① 感じている
- ② 感じていない
- ③ どちらともいえない
- ④ わからない

(5) 地域のスポーツ環境の充実度

(1) 地域のスポーツ施設は充実していると思いますか

- ① 充実している
- ② やや充実している
- ③ あまり充実していない
- ④ 充実していない
- ⑤ わからない

地域のスポーツ環境の充実度

(6) (2) 地域のスポーツ施設やスポーツクラブ等で提供されているプログラムは充実していると思いますか

- ① 充実している
- ② やや充実している
- ③ あまり充実していない
- ④ 充実していない
- ⑤ わからない

(7) 地域のスポーツ環境に対して重視する点

- ① スポーツ以外のプログラムも楽しめる
- ② 近くにある
- ③ スポーツに関する専門指導を受けられる
- ④ 健康に関する専門指導を受けられる
- ⑤ 家族みんなで楽しめる
- ⑥ 会費が安い
- ⑦ 複数の種目が実施できる
- ⑧ 仲間と一緒に楽しめる
- ⑨ 託児施設が併設している
- ⑩ その他

(8) 地域で経験したことがある役職（複数回答可）

- ① 特になし
- ② P T A 役員
- ③ 町内会役員
- ④ スポーツ推進委員
- ⑤ 青少年委員
- ⑥ 児童委員
- ⑦ 民生委員
- ⑧ その他

(9) 現在の健康状態

- ① よい
- ② まあよい
- ③ ふつう
- ④ あまりよくない
- ⑤ よくない

(10) 精神的な落ち込みや不快感を感じる割合

- ① よくある
- ② ときどきある
- ③ ない

(11) ボランティア活動への参加

- ① ある
- ② ない→ (15) へ進んでください

(12) ボランティア活動の頻度について【(11)で①あると回答した方のみ】

- ① 週1回程度
- ② 月2回程度
- ③ 3ヶ月に1回程度
- ④ 半年に1回程度
- ⑤ 年に1回程度
- ⑥ その他

(13) ボランティア活動のきっかけについて【(11)で①あると回答した方のみ】

- ① 総合型地域スポーツクラブからの誘い
- ② 友人からの誘い
- ③ 家族からの誘い
- ④ 仕事の関係から
- ⑤ 広告やチラシを見て
- ⑥ その他

(14) ボランティア活動の充実感について【(11)であると回答した方のみ】

- ① 十分感じる
- ② まあ感じる
- ③ どちらともいえない
- ④ あまり感じていない
- ⑤ ほとんど感じていない

(15) 充実していると感じる時間

- ① 仕事に打ち込んでいるとき
- ② 勉強や教養などに身を入れているとき
- ③ 趣味やスポーツに熱中しているとき
- ④ ゆったり休養しているとき
- ⑤ 家族団らんするとき
- ⑥ 友人や知人と会合、雑談しているとき
- ⑦ 社会奉仕や社会活動をしているとき
- ⑧ その他
- ⑨ わからない

(16) クラブ所属形態について

- ① 会員
- ② 非会員（ビジター会員含む）

(17) 会員歴について

- ① 2年以下
- ② 3年以上6年以下
- ③ 7年以上

(18) 総合型地域スポーツクラブ加入前に、サークルやクラブ等で活動していましたか

- ① していた
- ② していない→(20)へ進んでください

(19) 活動期間について（一番長く活動している種目）
【(18)で①していたと回答した方のみ】

- ① 1年未満
- ② 3年未満
- ③ 5年未満
- ④ 10年未満
- ⑤ 10年以上

(20) 現在の参加種目について

- ① スポーツ系種目
- ② 文科系種目
- ③ 両方

(21) 現在の参加種目数について

- ① 1種目
- ② 2種目以上

(22) 行う運動やスポーツの内容・種目は広がったと思うか

- ① はい (そう思う)
- ② いいえ (そう思わない)
- ③ どちらともいえない

(23) 行う運動やスポーツの内容・種目の広がりのおかげについて

- ① 今までに経験があった
- ② 以前から興味はあったが、やれなかった
- ③ その種目の実施を目的としていた
- ④ クラブ内に他の種目があったので、参加してみた
- ⑤ 友達に誘われた
- ⑥ 家族に誘われた
- ⑦ その他

(24) クラブの子どもたち (中学生以下) との交流【高校生以上の方のみ回答】

- ① よくある
- ② ときどきある
- ③ あまりない
- ④ ほとんどない

(25) クラブの大人 (高校生以上) との交流【中学生以下の方のみ回答】

- ① よくある
- ② ときどきある
- ③ あまりない
- ④ ほとんどない

(26) クラブへの愛着や親しみ

- ① 感じている
- ② やや感じている
- ③ あまり感じていない
- ④ 感じていない

(27) クラブでの活動の満足度

- ① 非常に満足
- ② やや満足
- ③ やや不満
- ④ 非常に不満

(28) 健康状態や生活への影響 (1) 健康状態がよくなったと感じますか

- ① はい (そう思う)
- ② いいえ (そう思わない)
- ③ いいえ (もともと良い)
- ④ どちらともいえない

(29) 健康状態や生活への影響

(2) バランスの良い食事を心がけるようになったと思いますか

- ① はい (そう思う)
- ② いいえ (そう思わない)
- ③ いいえ (もともと良い)
- ④ どちらともいえない

健康状態や生活への影響

(30) (3) 精神的に大きく落ち込んだり、強い不快感 (不安、イライラなど) を感じたりすることが少なくなったと思いますか

- ① はい (そう思う)
- ② いいえ (そう思わない)
- ③ いいえ (もともと良い)
- ④ どちらともいえない

健康状態や生活への影響

(31) (4) 余暇（仕事や学校が休みの日）をお住まいの地域で過ごす時間が増えたと思いますか

- ① はい（そう思う）
- ② いいえ（そう思わない）
- ③ いいえ（もともと良い）
- ④ どちらともいえない

(32) 健康状態や生活への影響（5）地域の人々と接する機会が増えたと思いますか

- ① はい（そう思う）
- ② いいえ（そう思わない）
- ③ いいえ（もともと良い）
- ④ どちらともいえない

(33) クラブ入会前と比べて効果があったと感じることは何ですか。（複数回答可）

- ① ストレス解消
- ② 地域での友人・知人の増加
- ③ 体力の向上
- ④ ぐっすり眠れるようになった
- ⑤ 疲れにくくなった
- ⑥ 肩こりの解消（健康の維持・増進）
- ⑦ シェイプアップ
- ⑧ （クラブ以外の）運動・スポーツ参加機会の増加
- ⑨ 家族とのふれあいの増加

(34) **性別**

- ① 男性
- ② 女性

(35) **年代**

- ① 10歳未満
- ② 10代
- ③ 20代
- ④ 30代
- ⑤ 40代
- ⑥ 50代
- ⑦ 60代
- ⑧ 70代
- ⑨ 80代
- ⑩ 90歳以上

(36) **職業**

- ① 自営業
- ② 家族従事者
- ③ 管理職
- ④ 専門技術職
- ⑤ 事務職
- ⑥ 技能・労務職
- ⑦ 専業主婦（パート・アルバイトを除く）
- ⑧ パートやアルバイト
- ⑨ 児童・生徒・学生
- ⑩ その他の無職

アンケートに御協力いただきありがとうございました。

平成24年度県立体育センター生涯スポーツ推進に関する調査研究

回答欄の 0 を鉛筆やボールペンなどで塗りつぶしてください。[可：●、●/ 不可：○、○、○、○]

番号 10位		① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
番号 1位		① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩



1 質問に該当する番号にお答えください。

(1)	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
(2)	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
(3)	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
(4)	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
(5)	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
(6)	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
(7)	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
(8)	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
(9)	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
(10)	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
(11)	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
(12)	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
(13)	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
(14)	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
(15)	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
(16)	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
(17)	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
(18)	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

(19)	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
(20)	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
(21)	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
(22)	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
(23)	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
(24)	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
(25)	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
(26)	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
(27)	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
(28)	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
(29)	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
(30)	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
(31)	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
(32)	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
(33)	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
(34)	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
(35)	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
(36)	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

